

豊田市美術館
年報

ANNUAL REPORT
Toyota Municipal Museum of Art

NO. **10**

目次

	常設展		作品管理
004	第1期常設展示	037	収集作品一覧
006	第2期常設展示	048	作品貸出実績
008	第3期常設展示		
010	高橋節郎館 第1期常設展示		教育・普及
012	高橋節郎館 第2期常設展示	050	講演会、シンポジウム
015	高橋節郎館 第3期常設展示 (VISION II)	052	講座、解説会、ギャラリートーク、ワークショップ コンサート、映画上映会、パフォーマンス 等
	常設特別展	053	作品ガイド・ボランティア
018	ペリー ペリー ヒューマン		出版、ビデオ制作
021	開館10周年記念 VISION II 豊田市美術館のコレクション1995-2005		小・中学校美術館学習 博物館実習
	企画展		利用実績
029	ヤノベケンジ-キンダガルテン	054	観覧者数
032	ネイチャー&アート：ガウディ、ミロ、ダリ	055	ギャラリー利用状況
035	ニューヨーク近代美術館(MoMA)巡回展 谷口吉生のミュージアム	056	図書館閲覧室・レストラン等付属施設利用状況
		057	利用者総数
			評価実績
		058	定量評価のための自己点検表
		060	評価実施計画
			組織
		062	組織図
		063	美術館運営協議会 美術品収集委員会 美術館評価専門委員会 美術館モニター 美術館ボランティア 作品ガイドボランティア
			関係法規
		064	豊田市美術館条例
		065	豊田美術館管理規則
		068	沿革

凡例

◎常設展示、企画展示の出品作品および購入作品、寄贈作品のデータは、原則として以下のとおりに記した。

作家名

作品名

制作年

技法／素材

寸法（縦×横×奥行、高さはH、直径はφで表示）

所蔵者

不明な項目は記載していない。また、常設展示と購入作品、寄贈作品における所蔵者「豊田市美術館」の記載も省略した。

第1期常設展示

2005年3月19日[土]—6月12日[日]

75日間

展示室 5-7

展示室 5

01

今村 紫紅
秋風五丈原
1907年
膠彩、絹布
165.0×112.4cm

02

今村 紫紅
大井川
1913年
膠彩、絹布
136.0×56.0cm

03

岸田 劉生
自画像
1913年
油彩、カンヴァス
45.6×38.0cm

04

国吉 康雄
花飾りをつけた女
1932年
油彩、カンヴァス
66.0×81.3cm

05

小杉 放庵
老君出関
1929年
墨、膠彩、絹布
127.7×36.0cm

06

藤田 綱治
美しいスペイン女
1949年
油彩、カンヴァス
76.0×63.5cm

07

前田 寛治
I子像
1928年
油彩、カンヴァス
90.6×72.8cm

08

前田 青邨
二日月
1946年
墨、膠彩、紙
79.5×109.0cm

09

棟方 志功

花深处菩薩図
1970年頃
墨、彩色、紙
69.0×35.4cm

10

棟方 志功
釈迦出山図
制作年不詳
墨、彩色、紙
131.3×33.5cm

11

安田 毅彦
風来山人
1930年
墨、膠彩、紙
78.0×118.0cm

12

横山 大観
達磨
1907年
膠彩、絹布
148.2×57.2cm

13

フランシス・ベーコン
スフィンクス
1954年
油彩、カンヴァス
151.0×116.0cm

14

アルベルト・ジャコメッティ
ディエゴの胸像
1954年
ブロンズ
39.5×33.0×19.0cm

15

グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm

16

オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩、カンヴァス
82.3×66.0cm

17

オスカー・ココシュカ
コロナ I
1918年
リトグラフ、チョーク、紙
55.7×40.3cm

18

ルネ・マグリット
無謀な企て
1928年
油彩、カンヴァス
116.0×81.1cm

19

エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.7×110.2cm

20

エゴン・シーレ
座る少女: ステファニー・グリュンヴァルト
1918年
クレヨン、紙
47.0×30.1cm

展示室 6

21

小堀 四郎
イタリアの少年
1929年
油彩、カンヴァス
117.0×64.5cm

22

小堀 四郎
ドーミエ作《洗濯女》の模写
1929年
油彩、板
51.3×35.2cm

23

小堀 四郎
ブルターニュの男
1930年
油彩、カンヴァス
162.0×96.5cm

24

小堀 四郎
修道士の顔
1930年
油彩、カンヴァスボード
40.8×33.0cm

25

小堀 四郎
想ひ
1931年
油彩、カンヴァスボード
55.0×46.1cm

26

小堀 四郎
厨房 (アトリエの一隅)
1931年
油彩、カンヴァスボード
55.0×46.1cm

27

小堀 四郎
アトリエにて
1931年
油彩、カンヴァス
73.5×54.2cm

28

小堀 四郎
黄衣の女
1932年
油彩、カンヴァス
162.2×114.0cm

29

小堀 四郎
赤衣の女
1932年
油彩、カンヴァスボード
45.5×38.0cm

30

小堀 四郎
フェスの門 (モロッコ)
1932年
油彩、カンヴァス
46.3×38.3cm

31

小堀 四郎
ドーミエ作
《クリスパンとスカパン》の模写
1932年
油彩、カンヴァス
60.3×82.2cm

32

小堀 四郎
ボジリボの丘より
1933年
油彩、カンヴァス
38.3×55.3cm

展示室 7

33

宮脇 綾子
あやめ
1962年
アブリケ
39.2×99.5cm

34

宮脇 綾子
ひなげし
1969年
アブリケ
71.9×90.0cm

35

宮脇 綾子
うど
1970年
アブリケ
89.0×60.0cm

36

宮脇 綾子
紫花菜
1972年
アブリケ
113.0×187.0cm

37

宮脇 綾子
はりえ日記
1972-90年
水彩、アブリケ
30.2×21.0cm

38

宮脇 綾子
かぶの花
1976年
アブリケ
108.3×57.2cm

39

宮脇 綾子
芽キャベツ
1977年
アブリケ
108.3×57.2cm

40

宮脇 綾子
いちご
1980年
アブリケ
31.0×38.0cm

41

宮脇 綾子
ぼうふらのいる瓶
1981年
アブリケ
106.5×112.5cm

42

宮脇 晴
風景 海辺の農村
1933年

油彩、カンヴァス
50.0×100.0cm

43

宮脇 晴
鳥羽川の橋
1946年
油彩、カンヴァス
72.7×116.7cm

44

宮脇 晴
ひなげしの庭
1977年
油彩、カンヴァス
72.7×90.9cm

第2期常設展示

2005年6月24日[金]—10月2日[日]

89日間

展示室 4-7

展示室 4

01

アルマン
カシヤ バシヤ、シッパイ
1962年
カメラ、木箱
60.0×100.0×22.0cm

02

フランシス・ベーコン
スフィンクス
1954年
油彩、カンヴァス
151.0×116.0cm

03

アルベルト・ブッリ
赤 プラスチック
1964年
燃烧、プラスチック、カンヴァス
60.0×50.0cm

04

クリスト
梱包
1961年
南京袋、ロープ、ボード
75.0×60.0×20.0cm

05

ルーチョ・フォンターナ
空間概念 N3
1959-60年
ブロンズ
63.5×63.5×64.5cm

06

イヴ・クライン
モノクローム IKB 65
1960年
顔料、合成樹脂、カンヴァス、合板
199.0×152.5cm

07

グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェーシの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm

08

オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩、カンヴァス
82.3×66.0cm

09

エゴン・シーレ

レオポルト・ツィハチェックの肖像

1907年
油彩、カンヴァス
149.8×49.7cm

10

エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.7×110.2cm

11

ダニエル・スペーリ
レストラン・シティ・ギャラリー
1965年
ミクストメディア
135.0×135.0×34.0cm

12

ギュンター・ユッカー
変動する白の場
1965年
釘、カンヴァス、木、アクリル
150.0×150.0cm

展示室 5

13

会田 誠
あぜ道
1991年
岩絵具、アクリル、和紙
73.0×52.0cm

14

イチハラヒロコ
「初。皿。リンゴ。」
1996年
シルクスクリーン、カンヴァス
33.0×42.0cm
寄託作品

15

福田 美蘭
富嶽三十六景 神奈川沖浪裏
1996年
オフセット印刷、紙
29.6×41.0cm
寄託作品

16

フジイ フランソワ
鶏頭
2002年
鉛筆、エンジンオイル、ルイボス茶、膠、
嚢水、墨、和紙
130.0×90.0×3.0cm
寄託作品

17

フジイ フランソワ
池のこい図
2002年
鉛筆、エンジンオイル、ルイボス茶、膠、
嚢水、墨、和紙
130.0×270.0×3.0cm
寄託作品

18

フジイ フランソワ
夜更けのスカット
2002年
鉛筆、エンジンオイル、ルイボス茶、膠、
嚢水、墨、和紙
130.0×360.0×3.0cm
寄託作品

19

フジイ フランソワ
花火図（菊・芥子）
2003年
鉛筆、エンジンオイル、ルイボス茶、膠、
嚢水、墨、和紙
90.0×390.0×3.0cm
寄託作品

20

フジイ フランソワ
花火図（朝顔）
2003年
鉛筆、エンジンオイル、ルイボス茶、膠、
嚢水、墨、和紙
90.0×390.0×3.0cm
寄託作品

21

藤田 嗣治
美しいスペイン女
1949年
油彩、カンヴァス
76.0×63.5cm

22

森村 泰昌
肖像（ゴッホ）
1985年
写真
120.0×100.0cm

23

森村 泰昌
肖像（カミーユ・ルーラン）
1985年
写真
120.0×100.0cm

展示室 6

24

小堀 四郎
桃
1938年
油彩、カンヴァスボード
45.9×55.0cm

25

小堀 四郎
老人像
1939年
油彩、カンヴァス
61.8×51.1cm

26

小堀 四郎
中勤助像
1939年
油彩、カンヴァス
65.2×53.4cm

27

小堀 四郎
早春（柿生）
1941年頃
油彩、カンヴァス
60.7×72.7cm

28

小堀 四郎
鶴川風景（ひぐらし）
1944年
油彩、カンヴァス
72.5×50.3cm

29

小堀 四郎
鶴川風景（夏）
1944年
油彩、カンヴァス
73.0×53.5cm

30

小堀 四郎
冬の花束
1946年
油彩、カンヴァス
60.8×50.2cm

31

小堀 四郎
高原の夕陽
1947年
油彩、カンヴァス
65.3×91.1cm

32

小堀 四郎
妻の像
1949年
油彩、板
41.0×31.7cm

33

小堀 四郎
小梨と藤
1950年
油彩、カンヴァス
116.5×80.6cm

34

小堀 四郎
秋の星
1953年
油彩、カンヴァス
41.0×53.0cm

35

小堀 四郎
高原暮色（夢科）
1953年
油彩、カンヴァス
41.2×53.1cm

36

小堀 四郎
花火
1955年
油彩、カンヴァス
80.5×60.9cm

展示室 7

37

宮脇 綾子
はりえ日記
1972-90年
水彩、アブリケ
30.2×21.0cm

38

宮脇 綾子
鱒の魚百尾
1973年
アブリケ
85.0×197.0cm

39

宮脇 綾子
えんどう
1977年
アブリケ
13.5×44.6cm

40

宮脇 綾子
枝豆
1979年
アブリケ
39.0×29.0cm

41

宮脇 綾子
甘夏みかんと柚子
1985年
アブリケ
34.0×34.5cm

42

宮脇 綾子
芽の伸びたこんにやく芋
1985年
アブリケ
94.0×34.0cm

43

宮脇 綾子
いい形・いい布
1986年
アブリケ
90.5×157.2cm

44

宮脇 綾子
芽の出たさつまいも
1987年
アブリケ
35.0×48.0cm

45

宮脇 晴
樹上姉弟図
1936年
油彩、カンヴァス
130.0×97.0cm

46

宮脇 晴
子供たちと母
1942年
油彩、カンヴァス
97.0×130.3cm

47

宮脇 晴
戯れる
1954年
油彩、カンヴァス
100.0×80.3cm

第3期常設展示

2005年10月15日[土]—12月25日[日]

62日間

展示室 5-7

展示室 5

01

狗巻 賢二
作品 92-3
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm

02

狗巻 賢二
作品 92-4
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm

03

狗巻 賢二
作品 92-5
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm

04

狗巻 賢二
作品 92-6
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm

05

狗巻 賢二
作品 92-7
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm

06

狗巻 賢二
作品 92-8
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm

07

狗巻 賢二
作品 92-9
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm

08

狗巻 賢二
作品 92-10
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm

09

岡崎 和郎

両の手
1971年
石膏に彩色
6.1×12.7×21.8cm

10

岸田 劉生
鯉坊主
1922年
油彩、板
40.0×31.8cm

11

北川 民次
両手に囲まれるバッタ
1971年
エッチング、紙
14.5×20.5cm

12

牧野 義雄
ライフ・クラス
1901年頃
水彩、紙
19.2×24.4cm

13

村上 華岳
瞻部樹下悉達太子禅定之図
1933年
墨、膠彩、紙
67.3×31.7cm

14

アルベルト・ブッリ
赤 プラスチック
1964年
燃焼、プラスチック、カンヴァス
60.0×50.0cm

15

ウィレム・デ・クーニング
二人の人物
1967年
油彩、カンヴァスに貼った紙
90.8×60.3cm

16

モーリツ・コルネリス・エッシャー
反射球体と手
1935年
リトグラフ、紙
31.8×21.3cm

17

ルーチョ・フォンターナ
空間概念 N3
1959-60年
ブロンズ
63.5×63.5×64.5cm

18

ルーチョ・フォンターナ
空間概念
1967年
油彩、カンヴァス
54.3×65.5cm
寄託作品

19

グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm

20

マックス・クリンガー
手袋 (作品番号VI)
—第1葉：場所
1881年
エッチング、アクアティント、紙
22.8×32.7cm

21

マックス・クリンガー
手袋 (作品番号VI)
—第2葉：行為
1881年
エッチング、紙
24.7×18.9cm

22

マックス・クリンガー
手袋 (作品番号VI)
—第3葉：願望
1881年
エッチング、アクアティント、紙
28.1×10.6cm

23

マックス・クリンガー
手袋 (作品番号VI)
—第4葉：救助
1881年
エッチング、紙
11.0×23.8cm

24

マックス・クリンガー
手袋 (作品番号VI)
—第5葉：凱旋
1881年
エッチング、紙
11.0×23.8cm

25

マックス・クリンガー
手袋 (作品番号VI)
—第6葉：敬意
1881年

エッチング、紙
11.2×29.3cm

26

マックス・クリンガー
手袋 (作品番号VI)
—第7葉：不安
1881年
エッチング、紙
10.9×23.8cm

27

マックス・クリンガー
手袋 (作品番号VI)
—第8葉：休息
1881年
エッチング、紙
11.1×23.5cm

28

マックス・クリンガー
手袋 (作品番号VI)
—第9葉：誘拐
1881年
エッチング、アクアティント、紙
8.9×21.9cm

29

マックス・クリンガー
手袋 (作品番号VI)
—第10葉：キュービッド
1881年
エッチング、紙
10.9×23.8cm

30

オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩、カンヴァス
82.3×66.0cm

31

ルネ・マグリット
無謀な企て
1928年
油彩、カンヴァス
116.0×81.1cm

32

ピエロ・マンゾーニ
無色
1958/59年
カオリン、襪のあるカンヴァス
80.0×60.0cm

33

ジュゼッペ・ペノーネ
マリティム・アルプス—その部分を除いて、
さらに木は成長し続けるだろう

1968年 (2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
58.2×38.9cm

34

ジュゼッペ・ペノーネ
マリティム・アルプス—その部分を除いて、
さらに木は成長し続けるだろう
1978年 (2004年プリント)
ゼラチンシルバープリント
58.2×38.9cm

35

エゴン・シーレ
アルトゥール・レスラーの肖像
1914年 (1922年刷)
ドライポイント、紙
24.2×32.0cm

36

エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.7×110.2cm

37

アントン・ヨーゼフ・トリチカ
エゴン・シーレ
1914年 (2002年プリント)
プラチナバラディウムプリント
20.4×15.6cm

展示室 6

38

小堀 四郎
大慈大悲
1956年
油彩、カンヴァス
116.7×91.3cm

39

小堀 四郎
高原の星夜
1961年
油彩、カンヴァス
91.2×117.4cm

40

小堀 四郎
不動明王
1962年
油彩、カンヴァス
166.2×115.5cm

41

小堀 四郎
恐山の巫女

1967年
油彩、カンヴァス
60.3×75.8cm

42

小堀 四郎
佐渡の百萬遍
1967年
油彩、カンヴァス
65.2×91.5cm

43

小堀 四郎
風雨波濤
1968年
油彩、カンヴァス
162.8×97.8cm

44

小堀 四郎
赫光
1969年
油彩、カンヴァス
149.0×162.5cm

45

小堀 四郎
御陣乗太鼓
1972年
油彩、カンヴァス
114.3×146.5cm

46

小堀 四郎
十三湖の月
1978年
油彩、カンヴァス
112.4×162.0cm

展示室 7

47

宮脇 綾子
メキシコの鳥
1962年
アプリケ
75.0×112.0cm

48

宮脇 綾子
紫花菜
1972年
アプリケ
113.0×187.0cm

49

宮脇 綾子
皮のするめ
1972年

アプリケ
112.5×67.5cm

50

宮脇 綾子
藤に椿の花をそえて
1973年
アプリケ
33.8×54.2cm

51

宮脇 綾子
しゃげ
1973年
アプリケ
95.6×32.7cm

52

宮脇 綾子
鶴亀模様の鯛
1979年
アプリケ
41.8×82.5cm

53

宮脇 綾子
赤い蟹
1981年
アプリケ
29.5×57.5cm

54

宮脇 綾子
れんこん
1982年
アプリケ
100.2×43.2cm

55

宮脇 綾子
伊勢えび
1982年
アプリケ
82.5×58.2cm

56

宮脇 晴
風船売り
1938年
油彩、カンヴァス
97.0×145.5cm

57

宮脇 晴
シャボン玉吹き
1956年
油彩、カンヴァス
100.0×80.3cm

58

宮脇 晴
赤と黄の椅子
1957年
油彩、カンヴァス
89.4×130.3cm

高橋節郎館 第1期常設展示

2005年6月24日[金]—10月2日[日]

89日間

01

高橋 節郎
標
1977年
鍍金
121.3×85.0cm

02

高橋 節郎
遠い森の記憶
1974年
鍍金
115.1×90.8cm

03

高橋 節郎
紋
1972年
鍍金
121.0×90.8cm

04

高橋 節郎
遠森の記
1974年
鍍金
175.8×163.4cm

05

高橋 節郎
蜃気楼「空中都市」
1961年
鍍金、朱印き塗
187.8×181.6cm

06

高橋 節郎
古墳借景
1978年
鍍金
176.0×170.0cm

07

高橋 節郎
星座創記
1975年
鍍金
175.9×173.0cm

08

高橋 節郎
古墳悠悠
1985年
鍍金
176.3×173.0cm

09

高橋 節郎
古墳月彩
1979年

鍍金

179.2×169.6cm

10

高橋 節郎
天宙の記
1972年

鍍金

182.0×182.8cm

11

高橋 節郎
霧晴れる
1984年

墨彩、和紙

93.5×182.5cm

12

高橋 節郎
龍雲
制作年不詳

墨彩、和紙

93.2×184.0cm

13

高橋 節郎
峻岳
1989年

墨彩、和紙

94.0×181.4cm

14

高橋 節郎
昆蟲記 I
1989年

染付、陶器

1.5×27.0×34.8cm

15

高橋 節郎
昆蟲記 IV
1989年

染付、陶器

1.4×25.7×32.8cm

16

高橋 節郎
昆蟲記 V
1989年

染付、陶器

1.5×27.1×35.0cm

17

高橋 節郎
昆蟲記 VI
1989年

染付、陶器

1.5×35.0×27.1cm

18

高橋 節郎
昆蟲記 VII
1989年
染付、陶器
1.1×32.3×28.0cm

19

高橋 節郎
昆蟲記 IX
1989年
染付、陶器
1.1×32.3×28.1cm

20

高橋 節郎
夢・太古の星座
1995年
鍍金、箔押
176.0×86.0cm

21

高橋 節郎
夢・縄文の星座
1996年
鍍金、箔押
176.0×86.0cm

22

高橋 節郎
花の星座
1949年
彩研出蒔絵、アルミニウム合金
42.0×110.0cm

23

高橋 節郎
街と花火
1952年
蒔絵、螺鈿、アルミニウム合金
77.3×98.8cm

寄託作品

24

高橋 節郎
遥かなる郷愁
1956年
鍍金
157.5×109.0cm

寄託作品

25

高橋 節郎
万化
1991年
鍍金
95.7×116.7cm

財団法人 高橋記念美術文化振興財団

26

高橋 節郎
踊り (A)
1954年
鍍金
19.0×19.0cm

財団法人 高橋記念美術文化振興財団

27

高橋 節郎
踊り (B)
1954年
鍍金
19.0×19.0cm

財団法人 高橋記念美術文化振興財団

28

高橋 節郎
《踊り》下図 A
1954年
鉛筆、紙
27.4×21.2cm

29

高橋 節郎
《踊り》下図 B
制作年不詳
鉛筆、紙
27.5×21.0cm

30

高橋 節郎
踊り
1954年
鍍金、アルミニウム合金
112.3×84.6cm

31

高橋 節郎
日日草紋衣裳箱
1938年
彩研出蒔絵
45.5×69.5×14.5cm

寄託作品

32

高橋 節郎
海 (春)
1993年
鍍金
3.0cm、Φ41.5cm

財団法人 高橋記念美術文化振興財団

33

高橋 節郎
海 (夏)
1993年
鍍金
3.0cm、Φ41.5cm

財団法人 高橋記念美術文化振興財団

34

高橋 節郎
赤い化石
制作年不詳
木芯乾漆
51.0×24.5×15.3cm

35

高橋 節郎
森魂
制作年不詳
木芯乾漆
37.0×97.0×20.0cm

36

高橋 節郎
化石の森
1997年
木芯乾漆
47.0×18.0×60.0cm

37

高橋 節郎
化石の山
1997年
木芯乾漆
74.0×17.0×30.0cm

38

高橋 節郎
街角
1985年
墨彩、和紙
13.0×18.0cm

39

高橋 節郎
埴輪
1985年
墨彩、和紙
13.0×18.0cm

40

高橋 節郎
聖橋
1985年
墨彩、和紙
13.0×18.0cm

41

高橋 節郎
木崎湖
1984年
墨彩、和紙
47.0×62.0cm

42

高橋 節郎
山寺
1986年

墨彩、和紙

93.8×63.1cm

財団法人 高橋記念美術文化振興財団

43

高橋 節郎
明けゆく山湖
制作年不詳
墨彩、和紙
45.4×46.2cm

44

高橋 節郎
呂里
制作年不詳
墨彩、和紙
61.6×92.9cm

45

高橋 節郎
朝霧
1986年
墨彩、和紙
44.3×93.4cm

財団法人 高橋記念美術文化振興財団

46

高橋 節郎
山彩
1990年
墨彩、和紙
27.5×24.5cm

47

高橋 節郎
雨上がる
制作年不詳
墨彩、和紙
52.7×94.0cm

48

高橋 節郎
飛鳥風景
1982年以前
墨彩、和紙
28.5×44.0cm

49

高橋 節郎
北信濃 山村暮色
1989年
墨彩、和紙
56.8×42.8cm

50

高橋 節郎
当麻寺
1982年以前
墨彩、和紙
44.0×28.5cm

51

高橋 節郎
古都の民家
1982年以前
墨彩、和紙
44.0×28.5cm

52

高橋 節郎
大和路
1982年以前
墨彩、和紙
28.5×44.0cm

53

高橋 節郎
古都所見 秋篠寺
1982年以前
墨彩、和紙
45.6×29.8cm

54

高橋 節郎
円の中の松 (寿松)
1987年

蒔絵

1.4cm、Φ41.2cm

財団法人 高橋記念美術文化振興財団

55

高橋 節郎
鍍金線紋棗 琴弦
1982年
鍍金
6.4cm、Φ6.7cm

56

高橋 節郎
蒔絵香合 霊山
1982年
蒔絵
2.0cm、Φ7.2cm

57

高橋 節郎
円の中の杉 (杉風)
1987年
鍍金
1.4cm、Φ41.2cm

財団法人 高橋記念美術文化振興財団

58

高橋 節郎
鍍金線紋四方盆 琴弦 2
1994年
鍍金
3.0×23.0×23.0cm

59

高橋 節郎

日月の小宮 日

制作年不詳

金地

4.8×7.0×10.9cm

60

高橋 節郎
日月の小宮 月
制作年不詳
金地
4.7×6.1×12.3cm

61

高橋 節郎
鍍金四方盆 花
1994年
蒔絵
3.0×23.0×23.0cm

62

高橋 節郎
花のセレナード
制作年不詳
鍍金
27.5×22.3cm

財団法人 高橋記念美術文化振興財団

高橋節郎館 第2期常設展示

2005年10月15日[土]—12月25日[日]
72日間

01 高橋 節郎 悠久の記 1971年 鍍金 182.0×182.4cm	1972年 鍍金 182.0×182.8cm	18 高橋 節郎 昆蟲記 IX 1989年 染付、陶器 1.1×32.3×28.1cm	書、彩色、和紙 31.0×40.4cm
02 高橋 節郎 紋 1972年 鍍金 121.0×90.8cm	10 高橋 節郎 古墳群映 1977年 鍍金 182.0×172.0cm	19 高橋 節郎 昆蟲記 V 1989年 染付、陶器 1.5×27.1×35.0cm	27 高橋 節郎 やまかわうみそらくもかせ 2000年 書、彩色、和紙 21.5×66.8cm
03 高橋 節郎 遠い記録 1973年 鍍金 120.9×98.0cm	11 高橋 節郎 古墳借景 1978年 鍍金 176.0×170.0cm	20 高橋 節郎 昆蟲記 VI 1989年 染付、陶器 1.5×35.0×27.1cm	28 高橋 節郎 枕草子 2000年 書、彩色、和紙 33.8×104.0cm
04 高橋 節郎 遠い森の記憶 1974年 鍍金 115.1×90.8cm	12 高橋 節郎 古墳松韻 1982年 鍍金 176.3×171.0cm	21 高橋 節郎 夢・太古の星座 1995年 鍍金、箔押 176.0×86.0cm	29 高橋 節郎 杜甫詩 制作年不詳 書、和紙 44.7×59.1cm
05 高橋 節郎 宙 1977年 鍍金 121.3×85.0cm	13 高橋 節郎 古墳悠悠 1985年 鍍金 176.3×173.0cm	22 高橋 節郎 夢・縄文の星座 1996年 鍍金、箔押 176.0×86.0cm	30 高橋 節郎 杜甫詩 制作年不詳 書、和紙 41.0×59.1cm
06 高橋 節郎 標 1977年 鍍金 121.3×85.0cm	14 高橋 節郎 星座物語 1994年 鍍金 176.0×173.0cm	23 高橋 節郎 春花秋月 1975年 書、彩色、和紙 31.8×66.8cm	31 高橋 節郎 桜花白酔 制作年不詳 書、和紙 87.0×25.8cm
07 高橋 節郎 樹下小憩 1980年 鍍金 120.0×87.3cm	15 高橋 節郎 昆蟲記 I 1989年 染付、陶器 1.5×27.0×34.8cm	24 高橋 節郎 雲白山青 1995年 書、和紙 32.8×108.7cm	32 高橋 節郎 詩経 制作年不詳 書、和紙 44.6×59.1cm
08 高橋 節郎 花天 1990年 蒔絵 90.7×116.6cm 財団法人 高橋記念美術文化振興財団	16 高橋 節郎 昆蟲記 IV 1989年 染付、陶器 1.4×25.7×32.8cm	25 高橋 節郎 奥の細道 1996年 書、彩色、和紙 32.9×87.8cm	33 高橋 節郎 満春百花 制作年不詳 書、彩色、和紙 87.0×28.6cm
09 高橋 節郎 天宙の記	17 高橋 節郎 昆蟲記 VII 1989年 染付、陶器 1.1×32.3×28.0cm	26 高橋 節郎 花(日、月、山、川) 2000年	34 高橋 節郎 円の中の山(月彩) 1987年 蒔絵 1.3cm、Φ41.2cm 財団法人 高橋記念美術文化振興財団

35 高橋 節郎 日月の宮～日 制作年不詳 呂色塗 13.5×44.5×25.5cm	書、紙 27.5×24.5cm	52 高橋 節郎 触 1975年 漆版画、和紙 55.8×82.6cm	木胎漆器 6.4×10.6×10.6cm
36 高橋 節郎 日月の宮～月 制作年不詳 呂色塗 14.0×50.5×25.0cm	44 高橋 節郎 雲(色紙) 1996年 書、紙 27.5×24.5cm	53 高橋 節郎 伸びてゆく指 制作年不詳 エッチング、和紙 24.5×13.5cm	61 高橋 節郎 四角ユニット 黒 1938年 木胎漆器 6.4×10.6×10.6cm
37 高橋 節郎 春(色紙) 1996年 墨彩、紙 27.5×24.5cm	45 高橋 節郎 層煙 1962年 漆版画、和紙 119.4×94.7cm	54 高橋 節郎 婦人像 制作年不詳 エッチング、和紙 15.0×13.0cm	62 高橋 節郎 ゴールデンデリシャス マルーン 1 1953年 銅箔、化学塗料、金属 2.8×13.9×11.6cm
38 高橋 節郎 夏(色紙) 1996年 墨彩、紙 27.5×24.5cm	46 高橋 節郎 流雲 1962年 漆版画、和紙 119.3×95.0cm	55 高橋 節郎 風船 制作年不詳 エッチング、和紙 18.0×12.0cm	63 高橋 節郎 ゴールデンデリシャス カーマインレッド 1 1953年 銅箔、化学塗料、金属 1.2×13.9×11.6cm
39 高橋 節郎 秋(色紙) 1996年 墨彩、紙 27.5×24.5cm	47 高橋 節郎 サカスの女 1963年 エッチング、和紙 18.0×14.0cm	56 高橋 節郎 振振 制作年不詳 漆版画、紙 62.5×96.2cm	64 高橋 節郎 ゴールデンデリシャス アイボリーブラック 1953年 銅箔、化学塗料、金属 1.3×14.2×11.8cm
40 高橋 節郎 冬(色紙) 1996年 墨彩、和紙 27.5×24.5cm	48 高橋 節郎 夜の猫 1963年 エッチング、和紙 14.5×14.5cm	57 高橋 節郎 記 制作年不詳 漆版画、和紙 96.5×61.3cm	65 高橋 節郎 ゴールデンデリシャス エメラルドグリーン 1953年 銅箔、化学塗料、金属 1.3×14.1×11.8cm
41 高橋 節郎 龍(色紙) 1996年 書、紙 27.5×24.5cm	49 高橋 節郎 森の小径 1964年 エッチング、和紙 20.5×13.5cm	58 高橋 節郎 態 制作年不詳 漆版画、和紙 82.8×55.5cm	66 高橋 節郎 ラッキープレート クリーム 1953年 化学塗料、金属 1.1×12.5×10.3cm
42 高橋 節郎 岳(色紙) 1996年 書、紙 27.5×24.5cm	50 高橋 節郎 型 1966年 漆版画、和紙 82.7×55.7cm	59 高橋 節郎 四角ユニット 白 1938年 木胎漆器 6.3×10.5×10.5cm	67 高橋 節郎 ラッキープレート グリーン 1953年 化学塗料、金属 1.4×12.4×10.4cm
43 高橋 節郎 風(色紙) 1996年	51 高橋 節郎 踊(タンゴ) 1966年 漆版画、和紙 56.1×82.6cm 寄託作品	60 高橋 節郎 四角ユニット 赤 1938年	68 高橋 節郎 ラッキープレート ピンク 1953年 化学塗料、金属 1.3×12.4×10.4cm

高橋節郎館 第3期常設展示

2006年1月8日[日]—4月2日[日]
74日間

- 69**
高橋 節郎
三角ユニット花器Ⅱ 赤
1955年
木胎漆器
4.4×25.5×12.7cm
- 70**
高橋 節郎
三角ユニット花器Ⅱ 黒
1955年
木胎漆器
4.3×25.6×12.6cm
- 71**
高橋 節郎
四角ユニット 黄
1955年
木胎漆器
6.3×10.5×10.5cm
- 72**
高橋 節郎
花器裝飾枠 1
1955年
鍍金
12.4×12.8×12.8cm
- 73**
高橋 節郎
花展
制作年不詳
鍍金、和紙
27.5×21.3cm
財団法人 高橋記念美術文化振興財団

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 01
高橋 節郎
紋
1972年
鍍金
121.0×90.8cm | 木芯乾漆
50.0×9.0×24.0cm | 18
高橋 節郎
地久大恵 10
1993年
木芯乾漆
87.5×19.0×37.0cm | 鍍金
121.3×85.0cm |
| 02
高橋 節郎
遠い森の記憶
1974年
鍍金
115.1×90.8cm | 10
高橋 節郎
地久大恵 2
1993年
木芯乾漆
30.5×13.0×47.5cm | 19
高橋 節郎
地久大恵 11a
1993年
木芯乾漆
12.0×17.0×99.5cm | 27
高橋 節郎
古墳
1964年
彩繪繪
123.3×95.3cm |
| 03
高橋 節郎
花の星座
1949年
彩研出蒔絵、アルミニウム合金
42.0×110.0cm | 11
高橋 節郎
地久大恵 3
1993年
木芯乾漆
54.0×12.5×23.0cm | 20
高橋 節郎
地久大恵 11b
1993年
木芯乾漆
11.5×17.0×87.0cm | 28
高橋 節郎
化石
1963年
彩繪繪
180.0×150.0cm |
| 04
高橋 節郎
遠森の記
1974年
鍍金
175.8×163.4cm | 12
高橋 節郎
地久大恵 4
1993年
木芯乾漆
71.0×14.5×14.5cm | 21
高橋 節郎
地久大恵 12
1993年
木芯乾漆
27.5×19.0×91.0cm | 29
高橋 節郎
童子神
1995年
乾漆 |
| 05
高橋 節郎
置気楼「空中都市」
1961年
鍍金、朱叩き塗
187.8×181.6cm | 13
高橋 節郎
地久大恵 5
1993年
木芯乾漆
50.5×10.5×21.0cm | 22
高橋 節郎
地久大恵 13
1993年
木芯乾漆
33.0×51.0×78.0cm | 30
高橋 節郎
昆蟲記 I
1989年
染付、陶器
1.5×27.0×34.8cm |
| 06
高橋 節郎
古墳月彩
1979年
鍍金
179.2×169.6cm | 14
高橋 節郎
地久大恵 6
1993年
木芯乾漆
37.5×9.5×24.0cm | 23
高橋 節郎
地久大恵 15
1993年
木芯乾漆
24.5×8.0×24.5cm | 31
高橋 節郎
昆蟲記 IV
1989年
染付、陶器
1.4×25.7×32.8cm |
| 07
高橋 節郎
星座創記
1975年
鍍金
175.9×173.0cm | 15
高橋 節郎
地久大恵 7
1993年
木芯乾漆
40.0×10.0×25.5cm | 24
高橋 節郎
遠い記録
1973年
鍍金
120.9×98.0cm | 32
高橋 節郎
昆蟲記 VI
1989年
染付、陶器
1.5×35.0×27.1cm |
| 08
高橋 節郎
置気楼
1960年
鍍金、螺鈿
197.5×182.0cm | 16
高橋 節郎
地久大恵 8
1993年
木芯乾漆
53.0×10.5×27.0cm | 25
高橋 節郎
標
1977年
鍍金
121.3×85.0cm | 33
高橋 節郎
昆蟲記 VII
1989年
染付、陶器
1.1×32.3×28.0cm |
| 09
高橋 節郎
地久大恵 1
1993年 | 17
高橋 節郎
地久大恵 9
1993年
木芯乾漆
61.0×13.0×41.0cm | 26
高橋 節郎
宙
1977年 | 34
高橋 節郎
昆蟲記 IX
1989年
染付、陶器
1.1×32.3×28.1cm |
| | | | 35
高橋 節郎 |

夢・太古の星座 1995年 鍍金、箔押 176.0×86.0cm	44 高橋 節郎 旅の印象 マイン河畔 制作年不詳 墨彩、和紙 28.4×46.1cm	むさしの記より 制作年不詳 墨彩、和紙 17.2×84.8cm	61.3×93.6cm
36 高橋 節郎 夢・縄文の星座 1996年 鍍金、箔押 176.0×86.0cm	45 高橋 節郎 旅の印象 制作年不詳 墨彩、和紙 46.4×62.8cm	53 高橋 節郎 雨上がる 制作年不詳 墨彩、和紙 52.7×94.0cm	61 高橋 節郎 踊 (タンゴ) 1966年 漆版画、和紙 56.1×82.6cm 寄託作品
37 高橋 節郎 アルプスの見える街 1984年 墨彩、和紙 95.2×63.8cm	46 高橋 節郎 明けゆく山湖 制作年不詳 墨彩、和紙 45.4×46.2cm	54 高橋 節郎 山彩 1990年 墨彩、和紙 27.5×24.5cm	62 高橋 節郎 四角ユニット 白 1938年 木胎漆器 6.3×10.5×10.5cm
38 高橋 節郎 神戸 1982年 墨彩、和紙 45.3×59.9cm	47 高橋 節郎 鏡 (A) 1955-64年 漆絵 Φ27.3cm	55 高橋 節郎 雲は流れる 制作年不詳 墨彩、和紙 32.2×42.5cm	63 高橋 節郎 四角ユニット 赤 1938年 木胎漆器 6.4×10.6×10.6cm
39 高橋 節郎 長崎の丘 制作年不詳 墨彩、和紙 33.2×41.1cm	48 高橋 節郎 酒場 1955-64年 漆絵 Φ27.2cm	56 高橋 節郎 雲は流れる 制作年不詳 墨彩、和紙 43.0×56.7cm	64 高橋 節郎 四角ユニット 黒 1938年 木胎漆器 6.4×10.6×10.6cm
40 高橋 節郎 街角 1985年 墨彩、和紙 13.0×18.0cm	49 高橋 節郎 婦人像 (A) 1955-64年 漆絵 Φ27.3cm	57 高橋 節郎 朝霧 1986年 墨彩、和紙 44.3×93.4cm 財団法人 高橋記念美術文化振興財団	65 高橋 節郎 ゴールデンリシャス マルーン 1 1953年 銅箔、化学塗料、金属 2.8×13.9×11.6cm
41 高橋 節郎 聖橋 1985年 墨彩、和紙 13.0×18.0cm	50 高橋 節郎 街角 1955-64年 漆絵 Φ27.2cm 財団法人 高橋記念美術文化振興財団	58 高橋 節郎 白馬三山 制作年不詳 墨彩、和紙 57.5×94.3cm	66 高橋 節郎 ゴールデンリシャス カーメインレッド 1 1953年 銅箔、化学塗料、金属 1.2×13.9×11.6cm
42 高橋 節郎 埴輪 1985年 墨彩、和紙 13.0×18.0cm	51 高橋 節郎 鏡 (B) 1955-64年 漆絵 Φ27.1cm 財団法人 高橋記念美術文化振興財団	59 高橋 節郎 嵐の前 1984年 墨彩、和紙 61.2×93.0cm	67 高橋 節郎 ゴールデンリシャス アイボリーブラック 1953年 銅箔、化学塗料、金属 1.3×14.2×11.8cm
43 高橋 節郎 旅の印象 館 制作年不詳 墨彩、和紙 45.8×28.0cm	52 高橋 節郎	60 高橋 節郎 山陵 1989年 墨彩、和紙	68 高橋 節郎 ゴールデンリシャス エメラルドグリーン 1953年 銅箔、化学塗料、金属 1.3×14.1×11.8cm

69 高橋 節郎 ラッキープレート クリーム 1953年 化学塗料、金属 1.1×12.5×10.3cm	2001年 金箔、プラチナ箔みだれ押し 67.0、Φ2.5cm 財団法人 高橋記念美術文化振興財団
70 高橋 節郎 ラッキープレート グリーン 1953年 化学塗料、金属 1.4×12.4×10.4cm	78 高橋 節郎 フルーツ：銀河 2001年 プラチナ箔みだれ押し 67.0、Φ2.5cm 財団法人 高橋記念美術文化振興財団
71 高橋 節郎 ラッキープレート ピンク 1953年 化学塗料、金属 1.3×12.4×10.4cm	79 高橋 節郎 クラリネット：ペガ 2005年 プラチナ箔みだれ押し 68.3、Φ7.5cm 財団法人 高橋記念美術文化振興財団
72 高橋 節郎 三角ユニット花器Ⅱ 赤 1955年 木胎漆器 4.4×25.5×12.7cm	80 高橋 節郎 クラリネット：アルタイ 2005年 金箔、プラチナ箔みだれ押し 68.3、Φ7.5cm 財団法人 高橋記念美術文化振興財団
73 高橋 節郎 三角ユニット花器Ⅱ 黒 1955年 木胎漆器 4.3×25.6×12.6cm	
74 高橋 節郎 四角ユニット 黄 1955年 木胎漆器 6.3×10.5×10.5cm	
75 高橋 節郎 ピアノ：宇宙紀行 1995年 鍍金、螺鈿 104.5×150.5×188.0cm	
76 高橋 節郎 ハーブ：銀河響奏 1999年 金箔、プラチナ箔みだれ押し 186.5×56.5×102.0cm 財団法人 高橋記念美術文化振興財団	
77 高橋 節郎 フルーツ：金河	

ベリー ベリー ヒューマン

2005年10月15日(土)~12月25日(日)

62日間

展示室 1-4

1990年代後半に中部圏で活動を始めた若手アーティスト8人の作品を紹介した。石田達郎、加藤美佳、鬼頭健吾、小林耕平、古池大介、山本高之、森北伸、渡辺豪の8人は、これまで互いに刺激し合いながら新しいアートの気運をつくりだし、各々の瑞々しい感覚で時代を表現してきた。

8人に共通するのは、既存の美術の枠組みにとらわれることなく、時代を身体と視覚と思考を通じて捉え、新たな表現をより深いところから生み出そうとする態度である。そして世界と自分の関係の中に、表面的でない根源的なリアリティを見いだそうとすると、彼らは必ず「人間」とは何かという問題に出会っていることであろう。

「ベリー ベリー ヒューマン」は、このとき彼らが見いだす「人間」の様を表わしている。彼ら8人の作品を通して、人間について改めて考えていただくというのが本展の趣旨である。会場では、8人の絵画、版画、平面、立体、写真、映像等を展示した。尚、本展は現代美術批評家、小西信之氏をゲスト・キュレーターに迎えて企画した。

主催：豊田市美術館

協力：株式会社ハイド・カラー、竹基板硝子株式会社、中部ソフラン株式会社、東洋ゴム工業株式会社、日本トイザラス株式会社、日本ビクター株式会社

出品点数：34点

入場者数：22,181人



チラシ



展示風景



展示風景



展示風景

関連事業：

講演会

講師：小西信之(現代美術批評家、本展覧会ゲスト・キュレーター)

日時：平成17年10月29日(土) 午後2時-3時30分

会場：豊田市美術館 講堂

出品作家によるレクチャー

講師：渡辺 豪

日時：平成17年10月30日(日) 午後2時-3時30分

会場：豊田市美術館 講堂

講師：古池大介

日時：平成17年11月27日(日) 午後2時-3時30分

会場：豊田市美術館 講堂

パフォーマンス

出演：石田達郎

日時：平成17年11月5日(土)、11月19日(土)、12月17日(土) 午後3時-3時30分

会場：豊田市美術館

エントランス・スペース、テラス

ギャラリートーク

ガイド：小林耕平(出品作家)、

作品ガイドボランティア、学芸員

日時：平成17年10月30日(日) 午後1時-1時40分

会場：豊田市美術館 展示室4

ガイド：加藤美佳(出品作家)、

作品ガイドボランティア、学芸員

日時：平成17年11月19日(土) 午後1時-1時50分

会場：豊田市美術館 展示室2

ガイド：鬼頭健吾(出品作家)、

作品ガイドボランティア、学芸員

日時：平成17年11月19日(土) 午後2時-2時50分

会場：豊田市美術館 展示室1

ガイド：山本高之(出品作家)、

作品ガイドボランティア、学芸員

日時：平成17年12月3日(土) 午後1時-1時50分

会場：豊田市美術館 展示室3

ガイド：古池大介(出品作家)、

作品ガイドボランティア、学芸員

日時：平成17年12月17日(土) 午後1時-1時50分

会場：豊田市美術館 展示室4

出品作家によるワークショップ

講師：森北 伸

内容：「スポンジ彫刻をつくろう」

日時：11月26日(土)午後1時-4時30分

会場：豊田市美術館 隅櫓

講師：山本高之

内容：「スプーンを曲げよう」

日時：12月4日(日)午後1時-4時30分

会場：豊田市美術館 会議室

印刷物：

チラシ：62.8×29.7cm (3つ折)

カタログ：29.7×21cm/84ページ

グラフィック・デザイン：

松岡千絵、松岡一敏、有衛里美

作品輸送・展示：ヤマトロジスティクス株式会社

会場設営：株式会社カタノ工房

担当学芸員：北川智昭

01

石田 達郎

大鳴坂町

2005年

鉛筆、アクリル、ガッシュ、紙

305.2×657.5cm

作家蔵

02

石田 達郎

眺め

2005年

アクリル、ガッシュ、紙粘土、紙、木、石、

セメント、布団、便座シート・カバー、マッ

ト、自転車

インスタレーション・サイズ

作家蔵

03

石田 達郎

G市の夜

2005年

鉛筆、アクリル、ガッシュ、紙

76.7×108.6cm

作家蔵

04

石田 達郎

街のメモ

2005年

アクリル

インスタレーション・サイズ

05

加藤 美佳

パンジーズ

2001年

油彩、カンヴァス

235.0×187.0cm

高橋コレクション蔵

06

加藤 美佳

無題

2005年

エッチング、水彩、紙

47.0×48.5cm

作家蔵

07

加藤 美佳

無題

2005年

エッチング、水彩、紙

47.0×48.5cm

作家蔵

08

鬼頭 健吾

無題

2005年

フラフープ

インスタレーション・サイズ

作家蔵

09

鬼頭 健吾

cosmic dust

2005年

アクリル、ラメ、ガラス・ビーズ、アクリル・

ミラー

200.0×200.0cm

作家蔵

10

鬼頭 健吾

cosmic dust

2005年

アクリル、ラメ、ガラス・ビーズ、アクリル・

ミラー

200.0×200.0cm

作家蔵

11

鬼頭 健吾

variable star

2005年

ガラス、ミラー・シート

32.0×32.0×62.0cm

作家蔵

12

小林 耕平

1-4-1

1999年

ビデオ(7分)

作家蔵

13

小林 耕平

2-3-2

2005年

ビデオ(20分)

作家蔵

14

小林 耕平

2-4-1

2005年

ビデオ(15分)

作家蔵

15

古池 大介

奥三河地方

2003年

ビデオ・インスタレーション

豊田市美術館蔵

16

古池 大介

Textile

2005年

ビデオ・インスタレーション

作家蔵

17

山本 高之

Spoon-bending

2001年

ビデオ(7分)

作家蔵

18

山本 高之

無題(車について)

2004年

ビデオ(5分)

作家蔵

19

山本 高之

無題(Deers)

2004年

デジタル・プリント

225.0×300.0cm

作家蔵

20

山本 高之

無題(クラウンの横に駐車したヴィッツを

洗車)

2004年

デジタル・プリント

115.0×150.0cm

作家蔵

21

山本 高之

無題(ハメルン)

2004年

デジタル・プリント

225.0×300.0cm

作家蔵

22

山本 高之

登下校時不審者対策防護服まもるくん

2005年

ビデオ(5分)

作家蔵

23

山本 高之

The holiday did not take place in 2004

2005年

デジタル・プリント

115.0×145.0cm

作家蔵

24

山本 高之

Protect Suits まもるくん

2005年

ラッカー、FRP

134.0×57.0×63.0cm

作家蔵

25

山本 高之

一週間

2005年

サウンド・インスタレーション(2分)

作家蔵

26

森北 伸

居場所のない輪

2005年

銅板

インスタレーション・サイズ

作家蔵

27

森北 伸

人は人

2005年

スポンジ

インスタレーション・サイズ

作家蔵

28

森北 伸

B.C./A.D.

2005年

油彩、鉛筆、MDFパネル

60.0×1,170.0cm(各60.0×90.0cm、13枚組)

作家蔵

29

渡辺 豪

フェイス(‘ポートレート’)-1

2005年

デジタル・プリント、半透過性フィルム、

ライト・ボックス

92.3×149.1×25.0cm

作家蔵

30

渡辺 豪

開館10周年記念 VISION II
豊田市美術館のコレクション1995-2005

2006年1月8日[日]-4月2日[日]
74日間
展示室 1-9

フェイス(「ポートレート」)-3
2005年
デジタル・プリント、半透過性フィルム、
ライト・ボックス
92.3×149.1×25.0cm
作家蔵

32
渡辺 豪
フェイス(「ポートレート」)-4
2005年
デジタル・プリント、半透過性フィルム、
ライト・ボックス
92.3×149.1×25.0cm
作家蔵

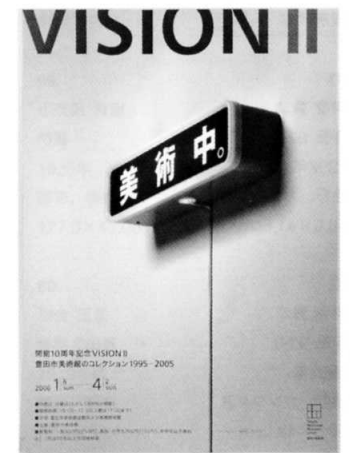
33
渡辺 豪
フェイス(「ポートレート」)-5
2005年
デジタル・プリント、半透過性フィルム、
ライト・ボックス
92.3×149.1×25.0cm
作家蔵

34
渡辺 豪
loopcycle-1
2005年
アニメーション
作家蔵

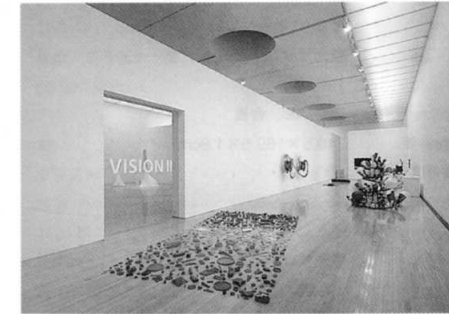
コレクションは館のヴィジョンを表すと同時に、それらを創り出したアーティストたちのヴィジョンをも深く湛えている。また一方で、コレクションを構成しているひとつひとつの作品に時代を超える生命力を与えるのは、作品を見つめ、ともに時代を生きる我々のヴィジョンであるとも言える。そこで当館では、所蔵品展を開催する際には「VISION」というタイトルをつけ、開館5周年の時に1回目のVISION展を行った。そして今回は、開館10周年記念として2回目のVISION展を開催した。

当館では、所蔵品を核とした自主企画展覧会のウエイトが重く、常にコレクションと展覧会が密接に関わっていることから、展示については、これまでに開催した展覧会について所蔵品を使って回顧するコーナー(展示室8)をメインに、年代毎にその時代の美術が概観できるコーナー(展示室2、3、4、5、6、7)と、この地域の美術振興に貢献した作家たちの作品を集めたコーナー(展示室9)の三つに分けて展示構成した。

主催：豊田市美術館
出品点数：210点
観覧者数：12,547人



ポスター



展示風景



展示風景



展示風景

関連事業：

| 記念講演会「豊田市美術館のコレクション」
講師：豊田市美術館学芸担当専門監 青木正弘
日時：1月15日(日) 午後2時-3時30分
会場：美術館講堂

| 学芸員による「この1点」解説

日時：1月22日[日]、28日[土]、2月5日[日]、11日
[土]、19日[日]、25日[土]、3月5日[日]、3月11日
[土]、3月19日[日]、3月25日[土] 午後3時-
会場：展示室

| わたしを選ぶ「この1点」募集

内容：観覧者が展示作品のなかから心にとまった作品を1点選んで投票する。

印刷物：

ポスター：B2判
チラシ：A4判
展示作品一覧：B2判 蛇腹折
グラフィックデザイン：下田理恵
作品輸送・展示：ヤマトロジスティクス株式会社
会場設営：株式会社カトウスタテオ
担当学芸員：田境志保 都筑正敏 金井直

展示室 1

01

狗巻 賢二
作品 92-1
1992年
油彩、カンヴァス
56.5×41.5cm

02

狗巻 賢二
作品 92-3
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm

03

狗巻 賢二
作品 92-4
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm

04

狗巻 賢二
作品 92-5
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm

05

狗巻 賢二
作品 92-6
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm

06

狗巻 賢二
作品 92-7
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm

07

狗巻 賢二
作品 92-8
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm

08

狗巻 賢二
作品 92-9
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm

09

狗巻 賢二

作品 92-10
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm

10

草間 彌生
No. AB.
1959年
油彩、カンヴァス
210.3×414.4cm

11

草間 彌生
チェア
1965年
詰めもの入り縫製布、木製椅子
90.0×80.0×85.0cm

12

斎藤 義重
作品 10
1961年
油彩、合板
181.4×121.2cm

13

斎藤 義重
複合体 95
1995年
ラッカー、木、ボルト
270.0×820.0×400.0cm

14

篠田 守男
テンションとコンプレッション 27
1959年
真鍮、鉄、木
20.0×14.0×30.0cm

15

白髪 一雄
無題
1959年
油彩、カンヴァス
182.0×272.8cm

16

田中 敦子
Work 1963 B
1963年
合成樹脂エナメル塗料、カンヴァス
162.2×133.5cm

17

村上 友晴
無題
1989-90年
油彩、カンヴァス
162.0×130.0cm

18

吉原 治良
無題
1961年
油彩、カンヴァス
162.0×131.0cm

展示室 2

19

ヴォルフガング・ライブ
ライスハウス
1996年
大理石、米
18.0×77.0×18.0cm

20

ヴォルフガング・ライブ
ライスハウス
1996年
大理石、米、花粉
25.0×97.0×27.0cm

展示室 3

21

ヨーゼフ・ボイス
ヴィトリヌ：耕地の素描
1963-83年
黒鉛増場、乾燥ソラマメ、鉄、シャベル、手
鎌、ヴィトリヌ（木、ガラス）、鉄製台座
205.7×209.5×49.5cm

22

ヨーゼフ・ボイス
ヴィトリヌ：ジンギス・カンの玉座
1965-83年
布、ビニール・チューブ、鉄、革紐、フェル
ト、硫黄、顔料、脂肪、ヴィトリヌ（木、
ガラス）、鉄製台座
205.7×219.5×49.5cm

23

ヨーゼフ・ボイス
ジョッキー帽
1985年
フェルト帽、脂肪、絵具、新聞紙
14.5×25.5×17.5cm

24

ヨーゼフ・ボイス
ブライト エレメント
1985年
フェルト・ロール、フェルト原料
147.0×330.0×41.0cm

25

ジェームズ・リー・バイヤーズ

球形の本 ('Q Is Point')
1990年
大理石
68.0×68.0×68.0cm

26

アンゼルム・キーファー
重い水
1987年
写真、銀箔、厚紙、鉛
70.0×50.0×5.0cm

27

イミ・クネーベル
好い子
1987年
亜鉛板、銅線
374.0×128.0×64.0cm

28

イミ・クネーベル
蛍光サンドイッチ No. 1
1992年
アクリル、合板
249.5×169.5×1.8cm

29

イミ・クネーベル
蛍光サンドイッチ No. 2
1992年
アクリル、合板
249.5×169.5×1.8cm

30

イミ・クネーベル
蛍光サンドイッチ No. 3
1992年
アクリル、合板
249.5×169.5×1.8cm

31

プリンキー・バレルモ
無題
1970年
綿布、漂白した綿布、絹、木
200.0×200.0cm

展示室 4

32

曾根 裕
パースデーパーティー
1997年
ビデオ

33

アルマン
カシャ バシヤ、シッパイ
1962年

カメラ、木箱
60.0×100.0×22.0cm

34

ジャン・アルブ
ひと、ひげ、へそ
1928-29年
木に着色
79.9×79.3×9.0cm

35

フランシス・ペーコン
スフィンクス
1954年
油彩、カンヴァス
151.0×116.0cm

36

グオルク・バゼリッツ
羊
1964年
油彩、カンヴァス
162.3×130.4cm

37

アルベルト・ブッリ
赤 プラスチック
1964年
燃烧、プラスチック、カンヴァス
60.0×50.0cm

38

クリスト
梱包
1961年
南京袋、ロープ、ボード
75.0×60.0×20.0cm

39

サルバドール・ダリ
血のない二つの目玉焼きを背に乗せ、ボルト
ガルパンのかけらを犯そうとしている平凡な
フランスパン
1932年
油彩、板
16.0×22.0cm

40

ウィレム・デ・クーニング
二人の人物
1967年
油彩、カンヴァスに貼った紙
90.8×60.3cm

41

ジャン・デュビュッフェ
存在の漏出
1950年
油彩、イゾレル
55.0×46.0cm

42

ジェームズ・アンソール
愛の園
1888年
油彩、カンヴァス
96.0×112.0cm

43

マックス・エルンスト
子供、馬そして蛇
1927年
油彩、カンヴァス
71.5×82.0cm

44

ルーチョ・フォンターナ
空間概念 N3
1959-60年
ブロンズ
63.5×63.5×64.5cm

45

ルーチョ・フォンターナ
空間概念
1962年
油彩、カンヴァス
129.0×97.0cm

46

アルベルト・ジャコメッティ
ディエゴの頭部
1953-54年頃
インク、紙
22.0×14.0cm

47

アルベルト・ジャコメッティ
ディエゴの胸像
1954年
ブロンズ
39.5×33.0×19.0cm

48

イヴ・クライン
モノクローム IKB 65
1960年
顔料、合成樹脂、カンヴァス、合板
199.0×152.5cm

49

ルネ・マグリット
無謀な企て
1928年
油彩、カンヴァス
116.0×81.1cm

50

ピエロ・マンゾーニ
無色
1958/59年

カオリン、襷のあるカンヴァス
80.0×60.0cm

51

ジョアン・ミロ
絵画
1933年
油彩、カンヴァス
128.0×162.0cm

52

ダニエル・スペーリ
レストラン・シティ・ギャラリー
1965年
ミクストメディア
135.0×135.0×34.0cm

53

イヴ・タンギー
失われた鐘
1929年
油彩、カンヴァス
64.2×53.2cm

54

ギュンター・ユッカー
変動する白の場
1965年
釘、カンヴァス、木、アクリル
150.0×150.0cm

展示室 5

55

今村 紫紅
秋風五丈原
1907年
膠彩、絹布
165.0×112.4cm

56

今村 紫紅
大井川
1913年
膠彩、絹布
136.0×56.0cm

57

梅原 龍三郎
少女アニー
1908年
油彩、カンヴァス
41.0×32.8cm

58

梅原 龍三郎
カンヌ
1956年
油彩、カンヴァス

49.4×99.4cm

59

小茂田 青樹
芍薬
1925年
膠彩、絹布
127.0×43.0cm

60

川合 玉堂
桃咲く山里
1949年頃
膠彩、絹布
72.5×54.4cm

61

岸田 劉生
自画像
1913年
油彩、カンヴァス
45.6×38.0cm

62

岸田 劉生
横臥裸婦
1913年
油彩、カンヴァス
45.5×53.0cm

63

岸田 劉生
代々木附近
1915年
油彩、カンヴァス
37.7×45.4cm

64

岸田 劉生
鯉坊主
1922年
油彩、板
40.0×31.8cm

65

国吉 康雄
花飾りをつけた女
1932年
油彩、カンヴァス
66.0×81.3cm

66

熊谷 守一
高原の秋
1935年頃
油彩、板
37.9×45.5cm

67

熊谷 守一

- シテミ蝶
1958年
油彩、板
23.6×32.8cm
- 68**
坂本 繁二郎
ポルテ・シャンデー
1922年
油彩、カンヴァス
31.9×40.9cm
- 69**
辻 晋堂
坐像
1952年
石膏
63.0×48.0×50.0cm
- 70**
富田 溪仙
吉野彩雨
1926年
墨、膠彩、絹布
128.3×42.0cm
- 71**
中村 彝
髑髏のある静物
1923年
油彩、ボードカンヴァス
32.5×23.7cm
- 72**
速水 御舟
果物
1920年
膠彩、絹布
26.4×23.9cm
- 73**
速水 御舟
菊に猫
1922年
膠彩、絹布
130.6×50.1cm
- 74**
菱田 春草
鹿
1909年
膠彩、絹布
128.0×51.0cm
- 75**
藤田 嗣治
自画像
1943年
油彩、カンヴァス
23.0×15.0cm
- 76**
藤田 嗣治
キャンボシヤ平原
1943年
油彩、カンヴァス
40.8×53.0cm
- 77**
藤田 嗣治
美しいスペイン女
1949年
油彩、カンヴァス
76.0×63.5cm
- 78**
堀内 正和
D氏の骨めきサイコロ
1964年 (1994年鑄造)
ブロンズ
53.5×18.0×18.0cm
- 79**
前田 寛治
I子像
1928年
油彩、カンヴァス
90.6×72.8cm
- 80**
前田 青邨
二日月
1946年
墨、膠彩、紙
79.5×109.0cm
- 81**
村上 華岳
臈部樹下悉達太子禪定之図
1933年
墨、膠彩、紙
67.3×31.7cm
- 82**
村上 華岳
山淵含春図
1936年
墨、膠彩、紙
74.4×30.8cm
- 83**
村上 華岳
牡丹花遊蝶之図
1936年
膠彩、紙
132.1×31.4cm
- 84**
安田 毅彦
風来山人
1930年
墨、膠彩、紙

- 78.0×118.0cm
- 85**
安田 毅彦
梅花定窯瓶
1963年
膠彩、紙
53.0×45.5cm
- 86**
柳原 義達
坐る
1960年 (1993年鑄造)
ブロンズ
129.5×44.0×75.0cm
- 87**
山口 長男
三ツノ円 A
1949年
油彩、カンヴァス
195.0×300.0cm
- 88**
山本 丘人
海の微風
1936年
膠彩、絹布
173.6×180.6cm
- 89**
横山 大観
達磨
1907年
膠彩、絹布
148.2×57.2cm
- 90**
横山 大観
焚火
1914年
膠彩、墨、絹布
各162.7×183.8cm(二曲一雙屏風)
- 展示室 6**
- 91**
ヨーゼフ・ホフマン
エッグ・カップとスモール・スプーン
製作年：1903-04年 (ウィーン工房)
銀
エッグカップ：5.2cm、Φ4.7cm、スモール
スプーン：14.0×2.2cm
- 92**
ヨーゼフ・ホフマン
フラットウェア・サーヴィス
製作年：1904年 (ウィーン工房)
銀
デザート・ナイフ (2本)：17.9×1.5cm、

- エスカルゴ・フォーク：19.2×1.7cm、テー
ブル・ナイフ：21.5×1.7cm、テーブル・フォー
ク：21.5×2.0cm、スプーン・レードル：21.
5×5.9cm、デザート・フォーク：17.9×1.6
cm、コーヒー・スプーン 14.0×3.0cm、ティ
ースプーン：12.8×3.0cm
- 93**
ヨーゼフ・ホフマン
サナトリウム・ブルカースドルフの待合室の
壁面照明器具
製作年：1904-05年 (ウィーン工房)
デザイン、洋銀、ガラス
30.0×30.0×15.7cm
- 94**
ヨーゼフ・ホフマン
リクライニングチェア(座るためのマシン)
製作年：1905年頃 (ヤコブ ウント ヨーゼ
フ・コーン)
ブナ
112.0×64.0cm
- 95**
グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm
- 96**
オスカー・ココシュカ
夢見る少年たち
1908年 (1917年クルト・ヴォルフ版)
8枚組
- 97**
オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩、カンヴァス
82.3×66.0cm
- 98**
コロマン・モーザー
アームチェア
製作年：1903年頃 (ブラハ=ルドニカー社)
ブナ、藤
71.3×67.3×65.7cm
- 99**
コロマン・モーザー
花入れ
製作：1904年 (ウィーン工房)
銀、ガラス
21.6cm、Φ8.5cm
- 100**
ヨーゼフ・マリア・オルブリヒ
燭台
鑄造：1901年頃 (金属製品製造所エドゥア

ルト・ヒュック)
白ろろ
36.5×11.2×7.2cm

101
ヨーゼフ・マリア・オルブリヒ
ルートヴィヒ大公結婚記念塔と展示館
(『ヨーゼフ・マリア・オルブリヒ建築作品集』
より)
出版：1904-14年頃 (エルンスト・ヴァスムー
ト)印刷、紙
50.5×34.0cm

102
ヨーゼフ・マリア・オルブリヒ
ルートヴィヒ大公結婚記念塔のエントランス
(『ヨーゼフ・マリア・オルブリヒ建築作品集』
より)
出版：1904-14年頃 (エルンスト・ヴァスムー
ト)印刷、紙
50.5×34.0cm

103
エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.7×110.2cm

展示室 7

104
ヘンドリクス・テオドルス・ヴェイデフェルト
ウェンディンヘン
1920年
32.2×32.4cm

105
フランク・ロイド・ライト
ウオレン・ヒコックス邸のハイバック・チェア
1900年頃
カシ
129.6×46.9×50.3cm

106
フランク・ロイド・ライト
アヴェリー・クーンレイ邸の壁面照明器具
1908年頃
ガラス、ブロンズ
18.4×22.9×27.9cm

107
フランク・ロイド・ライト
第56葉 アヴェリー・クーンレイ邸、リヴィ
ングルーム
出版：1910年 (エルンスト・ヴァスムート
出版社)
リトグラフ、紙
45.0×63.5cm

108
フランク・ロイド・ライト
第57葉 アヴェリー・クーンレイ邸、透視図
および窓ガラスのデザイン
出版：1910年 (エルンスト・ヴァスムート
出版社)
リトグラフ、紙
45.0×63.5cm

109
フランク・ロイド・ライト
フランシス・W・リトル邸の窓ガラス
製作年：1912年 (テンブル・アート・グラス・
カンパニー)
ガラス、鉛、木
149.0×54.8cm(2枚組)

110
フランク・ロイド・ライト
アヴェリー・クーンレイ・プレイハウスの窓ガ
ラス
1912年頃
ガラス、鉛、木
61.0×97.5cm

111
フランク・ロイド・ライト
〔建築図面〕帝国ホテルの壁面装飾
1915年頃
鉛筆、トレーシングペーパー
130.8×99.7cm

112
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテルの食器セット
デザイン年：1916-22年頃、再製作：1962-
68年 ((株)ノリタケカンパニー)
磁器

ディナー・プレート(2枚)：Φ27.0cm、サラ
ダ・プレート(2枚)：Φ19.4cm、パン皿(2枚)：
Φ16.2cm、フルーツ・ボウル(2枚)：Φ14.5c
m、カップ(2個)：5.5×10.7cm、Φ8.6cm、
ソーサー(2枚)：Φ13.5cm

113
フランク・ロイド・ライト
〔建築図面〕キンダー・シンフォニーズ (No. 2)
1926年
鉛筆、色鉛筆、トレーシングペーパー
24.5×31.8cm

114
フランク・ロイド・ライト
ジョンソン&サン社の椅子
製作年：1936年頃(スチールケース・コーポ
レーション)
スチール
88.9×45.7×50.8cm

展示室 8

115
イクムラレイコ
青の中に立って
1999年
油彩、カンヴァス
70.6×70.4cm

116
イクムラレイコ
黒の中
1999年
油彩、カンヴァス
110.5×150.5cm

117
イクムラレイコ
ミス・リー
2002-03年
ブロンズ
56.0×47.0×22.0cm

118
榎倉 康二
無題
1970年 (1995年再制作)
革、合板
220.0×217.0×4.0cm

119
榎倉 康二
無題 No.1
1980年
油彩、綿布
310.0×740.0cm

120
川俣 正
コンストラクション・サイト：スプイ・プロ
ジェクト デン・ハーグ 1986
1986年
木材、写真パネル、写真
模型：295.0×220.0×80.0cm、写真パネ
ル：100.0×150.0cm、ドキュメント写真：
62.0×87.0cm(9枚組み)

121
河原 温
May 1, 1971
1971年
アクリル、カンヴァス、新聞紙、厚紙
25.5×33.0×4.0cm

122
河原 温
May 2, 1971
1971年
アクリル、カンヴァス、新聞紙、厚紙
25.5×33.0×4.0cm

123
河原 温
May 3, 1971
1971年
アクリル、カンヴァス、新聞紙、厚紙
25.5×33.0×4.0cm

124
河原 温
May 4, 1971
1971年
アクリル、カンヴァス、新聞紙、厚紙
25.5×33.0×4.0cm

125
河原 温
May 5, 1971
1971年
アクリル、カンヴァス、新聞紙、厚紙
25.5×33.0×4.0cm

126
河原 温
May 6, 1971
1971年
アクリル、カンヴァス、新聞紙、厚紙
25.5×33.0×4.0cm

127
河原 温
May 7, 1971
1971年
アクリル、カンヴァス、新聞紙、厚紙
25.5×33.0×4.0cm

128
河原 温
May 7, 1971
1971年
アクリル、カンヴァス、新聞紙、厚紙
20.5×25.5×4.0cm

129
北山 善夫
どこかで
1982年
ミクストメディア
136.0×116.0×116.0cm

130
小清水 漸
作業台—木の帆
1977年
シナ合板
163.0×120.0×145.0cm

131
菅 木志雄
ふたつの周囲
1987年

- 木、鉄
163.0×32.0×85.0cm
- 132**
関根 伸夫
位相 No. 13
1968年
合板、木、ラッカー
224.0×140.0×43.0cm
- 133**
高松 次郎
点
1961年
ラッカー、針金
43.0×37.0×28.0cm
- 134**
高松 次郎
紐(黒 No. 1)
1962年
ミクストメディア
6.0×287.0×6.0cm
- 135**
高松 次郎
紐(黒)
1962年
ミクストメディア
10.5×296.5×14.0cm
- 136**
高松 次郎
四つの杉の単体
1970年
スギ
101.0×34.0×34.0cm
- 137**
高松 次郎
コンクリートの単体
1971年
コンクリート
40.0×60.0×60.0cm
- 138**
野村 仁
宇宙はきのこのように発生したか
1987年
ガラス
26.0×22.0×22.0cm
- 139**
野村 仁
宇宙は収縮に転ずるか?
1989年
ガラス
38.0×23.5×28.5cm
- 140**
野村 仁
赤道上の太陽
1989年
写真、プラスチック
140.0×352.0×60.0cm
- 141**
彦坂 尚嘉
P. W. P. 8 (森)
1978年
アクリル、木
66.5×107.2×8.3cm
- 142**
彦坂 尚嘉
P. W. P. 73 (緑神太鼓)
1983年
アクリル、木
62.8×129.0×17.5cm
- 143**
松澤 寿
80年問題一傾く宇宙
2002年
フェルトペン、紙
30.0×21.0cm(2点)、90.0×63.0cm(1点)
- 144**
若林 奮
大風景 (4th Stage)
1964, 91年
アルミニウム、鉄、木
54.0×134.5×55.0cm
- 145**
若林 奮
熱変へ II (3rd Stage)
1965, 90年
鉄
101.0×30.0×42.0cm
- 146**
若林 奮
100粒の雨滴 I
1976年
銅、鉄、真鍮
12.6×100.0×100.0cm
- 147**
若林 奮
振動尺試作 I
1976-77年
木、鉛、鉄
22.0×22.0×145.0cm
- 148**
メル・ボックナー
必ずしも芸術として見られる必要のないワー
キング・ドローイングとそのほかの視覚的な

- もの
1966年
作者が収集した制作ノート、下絵、下図のゼ
ロックス・コピー100枚を収めた全く同じルー
ズリーフ・ノート4冊
各28.9×29.0×7.8cm
- 149**
アリギエロ・ボエッティ
ALIGHIERO BOETTI
1975年
インク、紙
70.0×100.0cm
- 150**
ダニエル・ビュレン
定まらないフォルムの絵画
1966年
アクリル、ストライプの入った麻布
200.0×200.0cm
- 151**
ダニエル・ビュレン
無題
1970年
アクリル、ストライプの入った麻布
206.0×201.0cm
- 152**
ダニエル・ビュレン
そのとき、その場所のまさに真ん中で起こる
| フレームの中のフレームの中のフレーム
#42
1988年
アセテートフィルム、ガラス、木
サイズ可変 (壁の高さに応じる)
- 153**
ソフィ・カル
盲目の人々-視野の果てまで広がる海
1986年
写真、テキスト
テキスト: 40.0×80.0cm、
写真: 41.0×31.5cm、56.0×80.0cm
- 154**
ソフィ・カル
盲目の人々-グラナダでのロマンス
1986年
写真、テキスト
テキスト: 40.0×80.0cm、
写真: 41.0×31.5cm、40.0×56.0cm、
78.0×56.0cm
- 155**
ソフィ・カル
盲目の人々-緑
1986年
写真、テキスト
テキスト: 40.0×80.0cm、
- 写真: 41.0×31.5cm、56.0×80.0cm
- 156**
ソフィ・カル
盲目の人々-魚
1986年
写真、テキスト
テキスト: 40.0×80.0cm、
写真: 41.0×31.5cm、56.0×80.0cm
- 157**
ソフィ・カル
盲目の人々-オオヤマネコ
1986年
写真、テキスト
テキスト: 40.0×80.0cm、
写真: 41.0×31.5cm、56.0×80.0cm
- 158**
ソフィ・カル
盲目の人々-ロダン
1986年
写真、テキスト
テキスト: 40.0×80.0cm、
写真: 41.0×31.5cm、80.0×56.0cm(2枚)
- 159**
ソフィ・カル
盲目の人々-羊、母、ドロン
1986年
写真、テキスト
テキスト: 40.0×80.0cm、
写真: 41.0×31.5cm、51.0×37.0cm(3枚)
- 160**
ソフィ・カル
盲目の人々-白
1986年
写真、テキスト
テキスト: 40.0×80.0cm、
写真: 41.0×31.5cm、56.0×80.0cm
- 161**
ソフィ・カル
盲目の人々-断念
1986年
写真、テキスト
テキスト: 40.0×80.0cm、
写真: 41.0×31.5cm
- 162**
ソフィ・カル
盲目の人々-白い杖
1986年
写真、テキスト
テキスト: 40.0×80.0cm、
写真: 41.0×31.5cm、56.0×80.0cm

- 163**
トニー・クラッグ
スペクトラム
1979年
プラスチック
250.0cm×500.0cm
- 164**
トニー・クラッグ
無題 (棚に置いた5本のボトル)
1982年
プラスチック・ボトル
26.0×60.5×11.0cm
- 165**
トニー・クラッグ
スパイロジャイラ
1992年
ガラス瓶、スチール
220.0×220.0×220.0cm
- 166**
ヤニス・クネリス
無題
1986年
麻袋、鉛、鉄
200.0×542.0cm
- 167**
李 禹煥
線より
1977年
油彩、岩絵具、カンヴァス
182.0×227.0cm
- 168**
李 禹煥
点より
1978年
膠彩、カンヴァス
181.5×227.2cm
- 169**
李 禹煥
線より
1981年
膠彩、カンヴァス
194.0×259.0cm
- 170**
ビーノ・パスカーリ
キリンの新首
1966年
カンヴァス、木
270.0×250.0×250.0cm
- 171**
ジュゼッペ・ベノーネ
12メートルの木
1982年

- 木
各600.0×50.0×50.0cm(2本)
- 172**
ミケランジェロ・ピストレット
ぼろぎれのヴィーナス
1967年
石膏、ぼろぎれ
160.0×100.0×200.0cm
- 展示室 9**
- 173**
我妻 碧宇
静顔
制作年不詳
膠彩、紙
212.5×233.0cm(二曲一隻屏風)
- 174**
池田 恒象
赤壁の家
1957年
膠彩、紙
185.9×125.3cm
- 175**
大沢 証一郎
少年
1918年
油彩、カンヴァス
35.0×27.3cm
- 176**
北川 民次
仲間たち
1946年
油彩、カンヴァス
65.0×81.0cm
- 177**
鬼頭 鍋三郎
赤衣の女
1935年
油彩、カンヴァス
60.5×50.0cm
- 178**
小堀 四郎
イタリアの少年
1929年
油彩、カンヴァス
117.0×64.5cm
- 179**
小堀 四郎
修道士の顔
1930年
油彩、カンヴァスボード

- 40.8×33.0cm
- 180**
小堀 四郎
フェスの門 (モロッコ)
1932年
油彩、カンヴァス
46.3×38.3cm
- 181**
小堀 四郎
小梨と藤
1950年
油彩、カンヴァス
116.5×80.6cm
- 182**
佐分 眞
婦人像
1927年
油彩、カンヴァス
60.5×50.0cm
- 183**
牧野 義雄
ピカデリー・サーカスの夜景
1906/07年
水彩、紙
32.3×26.4cm
- 184**
牧野 義雄
チェルシー・エンバンクメント
1909/10年
水彩、紙
27.2×50.3cm
- 185**
松下 春雄
藤椅子にかける女
1931年頃
油彩、カンヴァス
100.0×65.0cm
- 186**
宮脇 綾子
はりえ日記
1972-90年
水彩、アプリケ
30.2×21.0cm
- 187**
宮脇 綾子
かぶの花
1976年
アプリケ
108.3×57.2cm
- 188**
宮脇 綾子

- まんじゅしゃげ
1978年
アプリケ
44.7×29.6cm
- 189**
宮脇 綾子
赤い蟹
1981年
アプリケ
29.5×57.5cm
- 190**
宮脇 綾子
彼岸花
1982年
アプリケ
55.5×31.5cm
- 191**
宮脇 晴
えりまきの少女
1920年
油彩、カンヴァス
45.6×33.2cm
- 192**
宮脇 晴
ボタン
1921年
油彩、カンヴァス
45.5×37.9cm
- 193**
森 緑翠
旅愁
1989年
膠彩、紙
61.0×91.1cm
- 194**
横井 礼以
新緑の路
1927年
油彩、カンヴァス
90.9×65.2cm
- 195**
横山 葩生
夏の山
1931年
膠彩、絹布
243.0×187.0cm
- 196**
和田 英作
静物
1948年
油彩、カンヴァス
33.0×45.5cm

197
和田 英作
高岡風景
1951年
油彩、カンヴァス
61.0×50.0cm

2階ギャラリー

198
ペーター・ペーレンス
卓上扇風機
製造年：1908年 (AEG社)
金属
38.0cm、Φ32.0cm

199
ペーター・ペーレンス
電気湯沸かし器
デザイン年：1909年(ペーター・ペーレンス)
製造期間：1909-32年 (AEG社)
ニッケルメッキの真鍮、藤、木
21.6×20.5×16.1cm(1.25L)

200
ペーター・ペーレンス
電気湯沸かし器
デザイン年：1909年(ペーター・ペーレンス)
製造期間：1909-32年 (AEG社)
銅メッキの真鍮、藤、木
21.1×20.1×14.1cm(1.25L)

201
ペーター・ペーレンス
電気湯沸かし器
デザイン年：1909年(ペーター・ペーレンス)
製造期間：1909-32年 (AEG社)
ニッケルメッキの真鍮、藤、木
22.8×21.2×15.4cm(1.75L)

202
ペーター・ペーレンス
電気湯沸かし器
デザイン年：1909年(ペーター・ペーレンス)
製造期間：1909-32年 (AEG社)
真鍮、藤、木
22.6×21.0×15.5cm(1.75L)

203
ペーター・ペーレンス
電気湯沸かし器
デザイン年：1909年(ペーター・ペーレンス)
製造期間：1909-32年 (AEG社)
ニッケルメッキの真鍮、藤、木
21.5×20.2×16.2cm(1.25L)

204
アン・ハミルトン
アレフ

1993年
ビデオ、LCDスクリーン
8.9×11.4cm

205
チャールズ・レニー・マッキントッシュ
アーガイル・ストリート・ティールームの
ハイバック・チェア
1898年
カシ、馬毛、 蘭
136.5×48.3×45.7cm

206
チャールズ・レニー・マッキントッシュ
ハイバック・チェア
1899年
木、馬毛
136.5×48.3×45.7cm

207
チャールズ・レニー・マッキントッシュ
ウィンディヒルのホールのハイバック・チェア
1901年
カシ、 蘭
133.7×73.2×54.5cm

3階スロープ

208
古池 大介
奥三河地方
2003年
ビデオ、LCDスクリーン
サイズ可変

1階エントランス

209
イチハラヒロコ
イチハラヒロコ恋みくじ
1999年
木、紙
みくじ箋整理箱：60.0×50.0×16.0cm、みくじ箋：10.0×14.6cm(36種)、みくじ筒：27.0×12.0cm

210
イチハラヒロコ
美術中。
2005年 (1999年のオリジナルに基づく)
カットティングシート、蛍光灯ブラケット
10.0×37.0×9.0cm

ヤノベケンジーキンダガルテン

2005年6月24日[金]ー10月2日[日]
89日間
展示室 1-4 (展示室4は展示室の半分を使用)

豊田市美術館では、21世紀に入って最初の万博である「愛・地球博」の開催にあわせて、ヤノベケンジの個展を企画した。

幼少期に大阪万博跡地から「創造の種」を授かり、その後35年間の時空の中でアーティストとして成長したヤノベケンジが、21世紀初の万博開催のタイミングに、次代に向けて如何なる「創造の種」を蒔くのか――。

今回、ヤノベが掲げた展覧会タイトルは、「KINDERGARTEN/キンダガルテン」(幼稚園・保育所)。像高7.5mの腹話術の巨大人形《ジャイアント・トラヤン》、作家乗用のディーゼルエンジン車を解体、再生して造ったマンモス型木馬《ロッキング・マンモス》、途方もなく大きな黒板ドロイングなど、メイン会場となる展示室1には、巨大な幼児が戯れる保育ルームのようなインスタレーションが出現した。上階へとつながる階段を利用して、さまざまなアングルから展示室を眺めることにより、まなざしがマイクロからマクロへと転換する不思議なヤノベ・ワールドを体験することができた。

1873年、ドイツのF.W.A.フレーベルが創設したとされる「KINDERGARTEN」の名は、自ら発育する可能性をもった植物の芽が、すぐれた園丁の育成下に成長する花園を意味する。本展覧会は、その名のとおり、新しい未来を開拓し牽引する人々のイマジネーションを触発する絶好の機会となった。

観覧料：一般500円(400円)、高校・大学生400円(300円)、中学生以下無料
[]内は20名以上の団体料金

主催：豊田市美術館、中日新聞社
協力：名古屋工業大学大学院産業戦略工学専攻 梅崎太造研究室、株式会社郡上ラボ、株式会社アステックコーポレーション
出品点数：31点
入場者数：26,537人

関連事業：

| ヤノベケンジ アーティスト・レジデンス・イン・豊田 公開

日時：6月12日[日] 午後2時-4時
会場：豊田市内工場

| ヤノベケンジ作品集出版記念イベント
アーティスト・トーク「ヤノベケンジ自作を語る」、フィルム上映、「AWAYA」によるサウンド・パフォーマンス、トラヤン・ファイヤー、作品集出版記念サイン会
日時：7月30日[土] 午後1時-7時30分
会場：講堂、ヤノベケンジ展会場

| ヤノベケンジ展 万博クロージング・イベント
アーティスト・トーク「子供都市からキンダガルテンへ」、トラヤン・パフォーマンス、トラヤン・ファイヤー、「mas」によるライブパフォーマンス、「AWAYA」によるサウンド・パフォーマンス、サイン会
日時：9月25日[日] 午後1時-5時30分
会場：講堂、ヤノベケンジ展会場

| フィルム上映会
「ドキュメント・メガロマニア」
青木兼治+ヤノベケンジ映像コラボレーション作品、2005年
日時：8月28日[日]、9月18日[日] 午後2時-
会場：講堂

| ワークショップ ①
「ジャイアント・トラヤンのかつらを作ろう！」
ーアート・アンド・ネイチャーー
対象：小学生

定員：各回20人(事前予約制)
会場：展示室9ほか
リーダー：川喜田奈保、岡部愛子
日時：7月22日[金]、7月23日[土]
午後1時30分-4時30分

| ワークショップ ②
「SANPAIマンモス・プロジェクト」
対象：小学生
定員：各回20人(事前予約制)
会場：展示室9ほか
リーダー：川喜田奈保、岡部愛子
日時：9月3日[土]、9月4日[日]
午後1時30分-4時30分

| ヤノベケンジ展 キッズ・ツアー
対象：小学生
定員：各回20人(事前予約制)
リーダー：学芸員+作品ガイドボランティア
日時：7月31日[日]、8月7日[日]、8月21日[日]
午前11時-午後12時30分

| 学芸員による作品解説
日時：7月3日[日]、8月7日[日]、8月21日[日]
午後3時-4時

| 友の会会員のためのヤノベケンジ・アーティスト・トーク
日時：9月24日[土] 午後2時-3時30分
作品ガイド・ボランティアによるギャラリー・ツアー
木曜日を除く毎日午後2時- (7月30日、8月28日、9月18日は午前11時より)



ポスター



展示風景

印刷物：
ポスター：B1判、B2判
チラシ：A4判(一般向け、子ども向けの2種類制作)
ギャラリーガイド：A5(3つ折)
ほぼ週間ヤノケン：A5(3つ折)
カタログ：A4変・並製・160ページ+DVD・120分、発行：青幻舎
グラフィックデザイン：豊永政史
作品輸送・展示：有限会社 美術梱包ヒグチ
担当学芸員：都筑正敏、田境志保

展示室 1

01

ヤノベケンジ
ジャイアント・トラヤン
2005年
アルミニウム、鉄、真鍮、FRP、発砲スチロール、他
720.0×460.0×310.0cm

02

ヤノベケンジ
ジャイアント・トラヤン 指令装置
2005年
アルミニウム、プラスチック、コンピュータ、他
105.0×65.0×65.0cm

03

ヤノベケンジ
ロッキング・マンモス
2005年
鉄、機械部品、他
370.0×190.0×450.0cm

04

ヤノベケンジ
宇宙の絵
2005年
ネオン、木、黒板塗料、他
535.0×1150.0×12.0cm

展示室 2

05

ヤノベケンジ
森の映画館
2003年
ミクストメディア
228.0×218.0×218.0cm

06

ヤノベケンジ
森の映画館 ドローイング
2003年
鉛筆、色鉛筆、紙
288.0×194.0cm

07

ヤノベケンジ
トラヤン物語
2004年
鉛筆、色鉛筆、紙
297.0×210.0cm

展示室 3

08

ヤノベケンジ
タワー・オブ・ライフ (構想模型)

2003年
鉄、アルミニウム、プラスチック、蛍光灯、他
364.0×220.0×220.0cm

09

ヤノベケンジ
トラヤン・ヘッド・トレイン
2004年
アルミニウム、鉄、真鍮、FRP、発砲スチロール、ジェット・ヒーター、他
65.0×55.0×160.0cm

10

ヤノベケンジ
マンモス・プロジェクト：20世紀のロボット・マンモス (プロトタイプ)
2004年
鉄、機械部品、他
136.0×87.0×260.0cm

11

ヤノベケンジ
トラヤン
2004年
ガイガー・カウンター、プラスチック、モーター、他
96.0×45.0×33.0cm

12

ヤノベケンジ
ミニ・タンキング・マシーン
2005年
生理的食塩水、鉄、プロパンボンベ、他
140.0×160.0×140.0cm

展示室 4

13

ヤノベケンジ
タワー・オブ・ライフ(断片) -未来の果実-
2003年
エキスポタワー廃材パネル、写真、他
275.0×260.0×32.0cm

14

ヤノベケンジ
ジャイアント・トラヤン ドローイング (初期スケッチ・GTRY計画)
2004年
インク、紙
356.0×245.0cm

15

ヤノベケンジ
ジャイアント・トラヤン ドローイング (トラヤン！)
2004年
インク、色鉛筆、紙
288.0×194.0cm

16

ヤノベケンジ
ジャイアント・トラヤン ドローイング
(愛知万博会場にて)

2004年

鉛筆、紙
288.0×194.0cm

17

ヤノベケンジ
ジャイアント・トラヤン ドローイング
(初期スケッチ)

2004年

インク、紙
288.0×194.0cm

18

ヤノベケンジ
マンモス・プロジェクト ドローイング
(偵察)

2004年

鉛筆、紙
288.0×194.0cm

19

ヤノベケンジ
マンモス・プロジェクト ドローイング
(20世紀のマンモス 初期スケッチ)

2004年

インク、紙
250.0×194.0cm

20

ヤノベケンジ
マンモス・プロジェクト ドローイング
(空輸)

2004年

インク、紙
287.0×205.0cm

21

ヤノベケンジ
マンモス・プロジェクト ドローイング
(海上輸送)

2004年

インク、紙
288.0×194.0cm

22

ヤノベケンジ
マンモス・プロジェクト ドローイング
(一万年後へのマンモス・タイムカプセル)

2004年

インク、紙
288.0×194.0cm

23

ヤノベケンジ
子供都市計画 ドローイング
(子供都市-虹の彼方に-)

2005年

インク、色鉛筆、紙
288.0×194.0cm

24

ヤノベケンジ
マンモス・プロジェクト ドローイング
(マンモス・パビリオン)

2005年

インク、紙
288.0×194.0cm

25

ヤノベケンジ
ロッキング・マンモス ドローイング

2005年

インク、紙
288.0×194.0cm

26

ヤノベケンジ
キングダガルテン展 イメージ・ドローイング
(タワー&キングダガルテン)

2005年

インク、色鉛筆、紙
288.0×194.0cm

27

ヤノベケンジ
キングダガルテン展 イメージ・ドローイング
(積み木)

2005年

インク、色鉛筆、紙
288.0×194.0cm

28

ヤノベケンジ
キングダガルテン展 イメージ・ドローイング
(恩物)

2005年

インク、色鉛筆、紙
288.0×194.0cm

展示室 3 上映フィルム作品

《マンモス・プロジェクト》
2004-05年 制作：青木兼治 10分

《ジャイアント・トラヤンのひみつ》
2005年 制作：青木兼治 7分

《子供都市-虹の要塞-》
2005年 制作：青木兼治 5分

展示室 4 上映フィルム作品

《メガロマニア・オープニング・フィルム》
2003年 制作：青木兼治 5分

《タワー・オブ・ライフ》
2003年 制作：青木兼治 17分

《太陽の塔、乗っ取り計画》
2003年 制作：青木兼治 28分

《ミニ・タンキングマシーン》
2005年 制作：大西和希 5分

2階ギャラリー 記録写真展示

《ヤノベケンジ 2004-2005》
2004-05年
ゼラチンシルバープリント
撮影、制作：大場美和

ネイチャー&アート：ガウディ、ミロ、ダリ

2005年7月16日[土]～9月19日[月・祝]

58日間
展示室 8

今日にいたるまでスペインは数多くの芸術家を生みだした。ことカタルーニヤの地が輩出した芸術家たちが、20世紀美術に多大な影響を与えたことはよく知られている。地中海とピレネー山脈に囲まれたカタルーニヤで生まれ育った3人の芸術家、ガウディ、ミロ、ダリの作品には、大地と自然を髣髴とさせるモチーフがしばしば見られる。建築の構造イメージを自然から得ていた事で知られるガウディは、柱やドアなどにも植物のモチーフをしばしば使用し、また1885年-1910年頃には、自ら設計した建築にあわせ、特徴ある有機的なフォルムの家具をデザインしている。シュルレアリスト、ミロとダリも初期作品において、素朴な山村や田園風景を様々な表現で残した。故郷の面影から得たようなこれらの色彩や形態は、彼らの後年の作品にも見出すことができる。彼らの創作活動の源が、故郷の大地と強く結びついていたといえよう

2005年日本国際博覧会開催に伴い、スペインパビリオン（Sociedad Estatal para Exposiciones Internacionales）の全面的な協力を得て開催した本展では、日本初公開の作品や、貴重な個人蔵の作品も多数展示された。ミロの初期から晩年までの作品の展観は創作の変遷を紹介し、ダリの初期作品はダリに対する一般的な既成イメージを拡大する一助になったと思われる。また建築家ガウディのエッセンスが存分に盛り込まれたデザイン家具や室内装飾等を、目直にできる貴重な機会になった。

観覧料：一般900円[700円] 高校・大学生700円[500円] 中学生以下無料

[] 内は20名以上の団体料金

主催：豊田市美術館、スペイン パビリオン

出品作品：90点

入場者数：22,397人



展示風景



展示風景



展示風景

関連事業

記念講演会

「自然との対話 ガウディ、ミロ、ダリ」

講師：ダニエル・ジラル・ミラクラ（美術史家/本展監修者）

日時：7月16日[土] 午後2時～3時30分

会場：美術館講堂

作品ガイドボランティアによるギャラリートツアー毎日(木曜日、関連事業開催日を除く)午後2時より

学芸員による作品解説

日時：8月6日[土]、9月10日[土] 午後3時～4時

印刷物：

ポスター：B1判、B2判

チラシ：A4判

ギャラリーガイド：A4判（2つ折り）

プレスリリース：A4判（2つ折り）

グラフィックデザイン：與語秀樹

作品輸送・展示：日本通運株式会社

会場デザイン：エミリアナ・デザイン・スタジオ

会場設営：株式会社カトウスタアオ

ハーゼンカンブ、バルセロナ

担当学芸員：西崎紀衣、成瀬美幸



ポスター

01

アントニ・ガウディ
カサ・ピセンスのためのバルメットヤシのオリジナル・モデル
1883-88年
木製の支持体にテラコッタ
82.0×78.0×19.0cm
サグラダ・ファミリア聖堂建設委員会蔵

02

アントニ・ガウディ
カサ・ピセンスの鉄柵
1883-85年頃
錬鉄、鋳鉄
145.0×168.0×15.0cm
サグラダ・ファミリア聖堂建設委員会蔵

03

アントニ・ガウディ
枝付き燭台と十字架
1898年頃
錬鉄、鋳鉄
139.0×58.5×25.0cm
サグラダ・ファミリア聖堂建設委員会蔵

04

アントニ・ガウディ
ファリウア合唱団旗
1900年
木、真鍮、コルク、革、絹
291.0×40.0×70.0cm
サン・フェリウ・ダ・クディナス市立カン・フレッダ美術館蔵

05

アントニ・ガウディ
洋服掛け
1900-01年頃
鉄、木
78.0×64.0×28.0cm
サグラダ・ファミリア聖堂建設委員会蔵

06

アントニ・ガウディ
司教用スツール
1904-08年
オーク、オルモル、革
82.0×86.0×48.0cm
マヨルカ大聖堂蔵

07

アントニ・ガウディ
トランカディス
1903年
ヴァレンシア・タイル
52.0×54.0×4.0cm
レアル・カテドラ・ガウディ建築博物館蔵

08

アントニ・ガウディ

トランカディス
1903年
ヴァレンシア・タイル
52.0×54.0×4.0cm
レアル・カテドラ・ガウディ建築博物館蔵

09

アントニ・ガウディ
トランカディス
1903年
ヴァレンシア・タイル
52.0×54.0×4.0cm
レアル・カテドラ・ガウディ建築博物館蔵

10

アントニ・ガウディ
トランカディス
1903年
ヴァレンシア・タイル
52.0×54.0×4.0cm
レアル・カテドラ・ガウディ建築博物館蔵

11

アントニ・ガウディ
六角形のタイル
1905/06年頃
水硬モザイク
25.0×25.0×2.5cm
カイシャ・カタルーニヤ財団蔵

12

アントニ・ガウディ
カサ・バトリヨの扉
1906年
トネリコ
各 209.0×35.5×4.0cm
レアル・カテドラ・ガウディ建築博物館蔵

13

アントニ・ガウディ
カサ・バトリヨの戸枠装り
1906年頃
トネリコ
305.0×140.0×15.0cm
レアル・カテドラ・ガウディ建築博物館蔵

14

アントニ・ガウディ
カサ・ミラの手すり
1910年
鉄
40.0×251.0×4.0cm
カイシャ・カタルーニヤ財団蔵

15

アントニ・ガウディ
カサ・ミラの扉
1910年頃
トネリコ
223.0×110.0×4.5cm

レアル・カテドラ・ガウディ建築博物館蔵

16

アントニ・ガウディ
教会のベンチ
1914年頃
オーク、鉄
84.0×114.0×67.0cm
コロニア・グエル教会蔵

17

アントニ・ガウディ
カサ・ミラのガラス入り扉
1910年頃
オーク、トネリコ、ガラス
315.0×195.0×7.0cm
レアル・カテドラ・ガウディ建築博物館蔵

18

アントニ・ガウディ
カサ・バトリヨのイス
オーク
74.0×52.0×47.0cm
Bdエディシヨネス・デ・ディセニヨによる複製

19

ジョアン・ミロ
シウラナ村
1917年
油彩、カンヴァス
49.0×39.0cm
個人蔵

20

ジョアン・ミロ
ブラダス村
1917年
油彩、カンヴァス
65.0×72.0cm
ソロモン R. グッゲンハイム美術館蔵

21

ジョアン・ミロ
絵画
1926年
油彩、カンヴァス
23.5×18.0cm
アロルダールクセン・コレクション

22

ジョアン・ミロ
絵画
1933年
油彩、カンヴァス
128.0×162.0cm
豊田市美術館蔵

23

ジョアン・ミロ

二人の海水浴客

1936年
グワッシュ、紙
80.0×96.0cm
アル・クンバンテ・コレクション

24

ジョアン・ミロ
太陽の前の人と鳥
1946年
油彩、カンヴァス
92.0×73.0cm
アロルダールクセン・コレクション

25

ジョアン・ミロ
シンシナティのプラザ・ホテルの壁画のためのプラン
1947年
油彩、カンヴァス
48.9×126.8cm
ピラール&ジョアン・ミロ財団蔵

26

ジョアン・ミロ
絵画
1949年
油彩、カンヴァス
66.0×81.5cm
国立ソフィア王妃美術館蔵

27

ジョアン・ミロ
絵画
1950年
油彩、カンヴァス
145.0×114.0cm
国立ソフィア王妃美術館蔵

28

ジョアン・ミロ
太陽の女
1966年
ブロンズ
84.0×28.0×21.5cm
国立ソフィア王妃美術館蔵

29

ジョアン・ミロ
夜の中の女
1967年
ブロンズ
64.0×28.0×13.0cm
国立ソフィア王妃美術館蔵

30

ジョアン・ミロ
国王陛下
1967-68年
彩色ブロンズ

108.0×35.0×35.0cm
 ジョアン・ミロ財団蔵

31
 ジョアン・ミロ
 頭
 1968年
 ブロンズ
 88.0×29.0×22.0cm
 ジョアン・ミロ財団蔵

32
 ジョアン・ミロ
 頭
 1970年
 ミクストメディア、紙
 49.0×47.0cm
 マネル・マヨラル・ギャラリー蔵

33
 ジョアン・ミロ
 鳥
 1972年
 油彩、木炭、パステル、チョーク、
 カンヴァス
 92.0×73.0cm
 ビラール&ジョアン・ミロ財団蔵

34
 ジョアン・ミロ
 絵画
 制作年不詳
 アクリル、木炭、カンヴァス
 216.0×174.0cm
 ビラール&ジョアン・ミロ財団蔵

35
 ジョアン・ミロ
 絵画Ⅱ
 制作年不詳
 アクリル、木炭、カンヴァス
 216.0×174.0cm
 ビラール&ジョアン・ミロ財団蔵

36
 ジョアン・ミロ
 無題
 制作年不詳
 アクリル、木炭、カンヴァス
 215.5×173.5cm
 ビラール&ジョアン・ミロ財団蔵

37
 ジョアン・ミロ
 無題
 制作年不詳
 油彩、アクリル、カンヴァス
 92.0×300.0cm
 ビラール&ジョアン・ミロ財団蔵

38
 ジョアン・ミロ
 太陽賛歌
 1975年
 エッチング、アクアチント、紙
 各36.5×51.5cm
 グスタボ・ヒリ出版社蔵

39
 サルバドール・ダリ
 従妹のモンセラ
 1917年頃
 油彩、カンヴァス
 47.0×41.5cm
 個人蔵

40
 サルバドール・ダリ
 水壺の女
 1920年頃
 油彩、カンヴァス
 34.6×26.0cm
 個人蔵

41
 サルバドール・ダリ
 リャネの庭園
 1920-21年
 油彩、カンヴァス
 40.0×50.0cm
 個人蔵

42
 サルバドール・ダリ
 イトスギのあるナンスの入江
 1920-21年
 油彩、カンヴァス
 40.0×52.0cm
 ダサ・アリスティ蔵

43
 サルバドール・ダリ
 海景
 1920-21年
 油彩、カンヴァス
 40.0×52.0cm
 ダサ・アリスティ蔵

44
 サルバドール・ダリ
 オリーブ、カダケス風景
 1921年頃
 油彩、カンヴァス
 60.4×81.1cm
 個人蔵

45
 サルバドール・ダリ
 血のない二つの目玉焼きを背に乗せ、ポルト
 ガルパンのかげらを犯そうとしている平凡な

フランスパン
 1932年
 油彩、板
 16.0×22.0cm
 豊田市美術館蔵

46
 サルバドール・ダリ
 三角形の時間
 1933年
 油彩、カンヴァス
 63.3×47.9cm
 鹿児島市立美術館蔵

47
 サルバドール・ダリ
 二つの塔
 1981年
 油彩、銅
 56.0×76.0cm
 国立ソフィア王妃美術館蔵

48
 サルバドール・ダリ
 塔、グランド・ピアノ、泉
 1981年
 油彩、銅
 76.0×56.0cm
 国立ソフィア王妃美術館蔵

49
 サルバドール・ダリ
 謎の道
 1981年
 油彩、カンヴァス
 66.0×54.0cm
 国立ソフィア王妃美術館蔵

50
 サルバドール・ダリ
 糸杉のある風景
 1981年
 油彩、銅
 37.0×53.0cm
 国立ソフィア王妃美術館蔵

51
 サルバドール・ダリ
 チェロに残酷な攻撃を加えるベッドと二つの
 ナイトテーブル
 1983年
 油彩、カンヴァス
 73.0×92.0cm
 国立ソフィア王妃美術館蔵

ニューヨーク近代美術館 (MoMA) 巡回建築展 谷口吉生のミュージアム

2005年10月22日[火] - 12月25日[日]
 56日間
 展示室 8

光の満ちる軽やかで洗練された空間。不意をつくかのように周到にめぐらされた機知に富んだ視覚効果。「場」の特性を活かし、環境条件から導き出された空間構成。統制されたプロポーションが生み出す全体のフォルムと、それに呼応する繊細で精緻を極めた素材と質感へのこだわり。谷口吉生の生み出す建築には、建築が個性であればあるほど不可避ともいえる構造的呪縛や重苦しい圧迫感から解放されたような、自由な伸びゆく空間を感じることができる。ミニマリズムの建築追求の手法と、機能・構造における合理性が表裏をなし、絶妙な均衡をかなでる先に、谷口建築の美は現れる。

1997年に、ニューヨーク近代美術館(MoMA)は増改築にあたって国際招待設計コンペティションを実施した。谷口は世界中で活躍する10名の建築家の中から指名を得、世界中の話題となった。本展は、昨年11月に開催したMOMAこけら落としの展示会に、日本における3つのプロジェクトを加え、さらに新生MoMAを詳しく紹介するものである。自らの建築固有の形態特性を消し去り、無私の空間を獲得した谷口のミュージアムにおいて、作品および展示物はその魅力、存在感を一層際立たせる。谷口自身の手による静謐な空間の中で本展を鑑賞して頂くことで、谷口建築の真髄をより深くご理解いただく機会とすることができた。

観覧料：一般1,000円[800円] 高校・大学生800円[600円] 小・中学生 無料
 [] 内は20名以上の団体料金

主催：豊田市美術館、ニューヨーク近代美術館、中日新聞社、日本経済新聞社、谷口吉生展実行委員会
 後援：アメリカ大使館、日本建築学会、日本建築家協会、日本建築士連合会、建築業協会

特別協賛：竹中工務店、大林組、鹿島、NEC

協賛：清水建設、大成建設

協力：キヤノン販売、日本航空、NHKエンタープライズ、ソニー

企画協力：デルファイ研究所

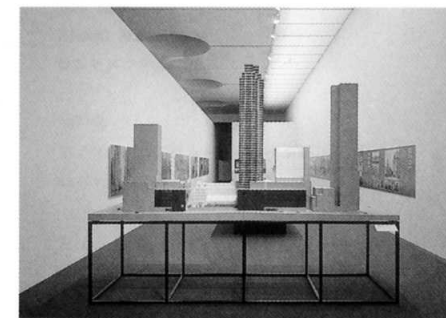
出品作品：谷口吉生によるMoMAおよび日本における12の建築物の模型、写真パネル、資料

入場者数：21,806人

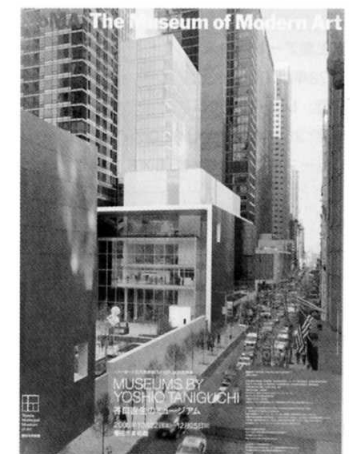
※本展はニューヨーク近代美術館により、国際協議会の協力のもと企画・構成された。



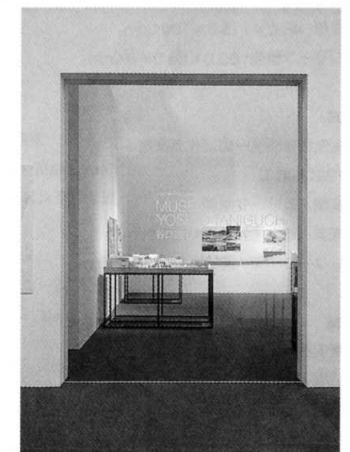
展示風景



展示風景



ポスター



展示風景

関連事業

開館10周年記念鼎談

講師：谷口吉生(建築家)、鈴木博之(建築史家)、
 五十嵐太郎(建築史家)

日時：10月22日[土] 午後3時-4時30分

会場：美術館講堂

担当学芸員によるスライド・トーク

日時：11月6日[日] 午後3時-4時

12月11日[日] 午後3時-4時

会場：美術館講堂

映画上映

『夢窓一庭との語らい』

監督：ジャン・ユンカーマン

音楽：武満徹

インタビュー：谷口吉生、勅使河原宏他

日時：11月20日[日] 午後3時-4時

12月25日[日] 午後3時-4時

会場：美術館講堂

ピアノコンサート「ニューヨーク紀行」

会場：美術館講堂

日時：12月10日[土] 午後2時より

主催：高橋記念美術文化振興財団

谷口建築設計研究所所員による建築ツアー

日時：11月27日[日] 午後3時-4時

美術館スタッフによる探検ツアー

日時：12月4日[日] 午後3時-4時

日時：12月18日[日] 午後3時-4時

ガイドボランティアによるギャラリーツアー

毎日(木曜日、関連事業開催日を除く)午後2時より

印刷物：

ポスター：B1判、B2判

チラシ：A4判

ギャラリーガイド：A4判(2つ折り)

グラフィックデザイン：矢萩喜徳郎

作品輸送・展示：

ヤマトロジスティクス株式会社

会場デザイン：谷口建築設計研究所

会場設営：株式会社カトウスタジオ

担当学芸員：能勢陽子、北谷正雄

01

資生堂アートハウス
1978年竣工
模型、レリーフ模型
模型: 25.0×140.0×165.0cm
レリーフ模型: 65.0×65.0×8.0cm

02

土門拳記念館
1983年竣工
模型、レリーフ模型
模型: 45.0×140.0×165.0cm
レリーフ模型: 65.0×65.0×8.0cm

03

東京都葛西臨海水族館
1989年竣工
模型、レリーフ模型
模型: 40.0×125.0×140.0cm
レリーフ模型: 90.0×65.0×19.0cm

04

長野県信濃美術館東山魁夷館
1990年竣工
模型、レリーフ模型
模型: 46.0×115.0×180.0cm
レリーフ模型: 65.0×65.0×8.0cm

05

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
1991年竣工
模型、レリーフ模型
模型: 30.0×115.0×180.0cm
レリーフ模型: 90.0×65.0×12.0cm

06

豊田市美術館
1995年竣工
模型、レリーフ模型
模型: 35.0×115.0×180.0cm
レリーフ模型: 90.0×65.0×19.0cm

07

東京国立博物館法隆寺宝物館
1999年竣工
模型、レリーフ模型
模型: 30.0×115.0×140.0cm
レリーフ模型: 65.0×65.0×8.0cm

08

香川県立東山魁夷せとうち美術館
2004年竣工
模型、レリーフ模型
模型: 28.0×103.0×165.0cm
レリーフ模型: 65.0×65.0×8.0cm

09

広島市環境局中工場中央通路ギャラリー
2004年
模型、レリーフ模型

模型: 120.0×122.0×300.0cm
レリーフ模型: 90.0×65.0×19.0cm

10

ニューヨーク近代美術館
2004年
模型

29.0×90.0×124.0cm
193.0×357.0×102.5cm
60.0×30.0×50.0cm

11

京都国立博物館百年記念館
2007年
模型、レリーフ模型
模型: 250.0×190.0×180.0cm、40.0×12
5.0×140.0cm
レリーフ模型: 90.0×65.0×12.0cm

12

2005年日本国際博覧会政府館基本計画案
模型、レリーフ模型
模型: 40.0×105.0×105.0cm
レリーフ模型: 90.0×65.0×12.0cm

13

シャレット・ボックス
資料
ニューヨーク近代美術館蔵

収集作品一覧

2005年度末 総点数

国内作家 2300点
国外作家 598点
合計 2898点

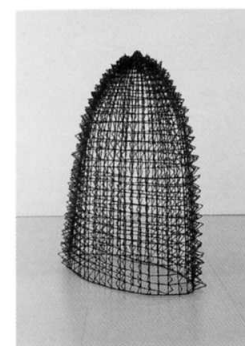
2005年度 購入作品

国内作家 83点
国外作家 6点

2005年度 寄贈作品

国内作家 2点
国外作家 4点

購入作品 | 国内作家 | 美術



青木 野枝
AOKI Noe
Untitled (NA84-1)

1984年
鉄
180.0×120.0×80.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、パライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、パライタ紙
41.0×34.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、パライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、パライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、パライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



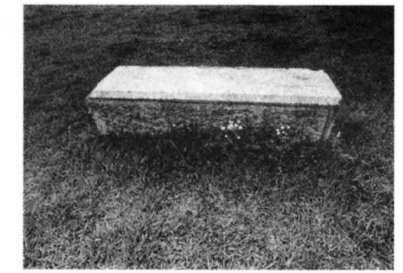
荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



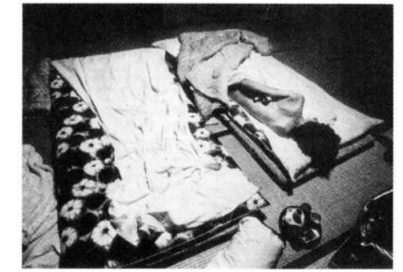
荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



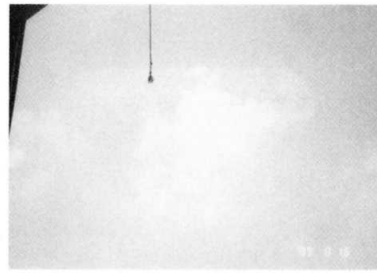
荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
センチメンタルな旅

1971年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
冬の旅

1989-90年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
冬の旅

1989-90年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
冬の旅

1989-90年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
冬の旅

1989-90年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
冬の旅

1989-90年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



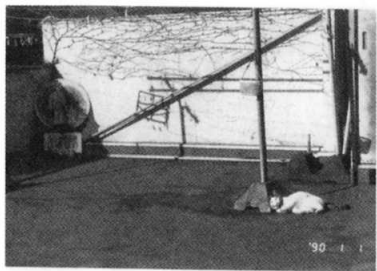
荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
冬の旅

1989-90年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
冬の旅

1989-90年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
冬の旅

1989-90年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
冬の旅

1989-90年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
冬の旅

1989-90年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
冬の旅

1989-90年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
冬の旅

1989-90年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
冬の旅

1989-90年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
冬の旅

1989-90年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



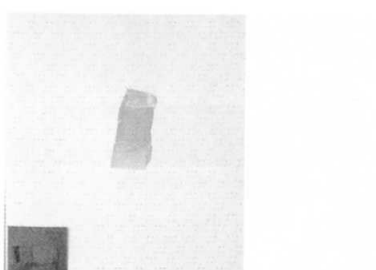
荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
冬の旅

1989-90年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



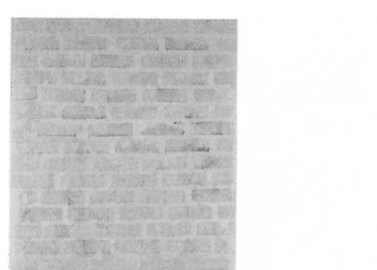
荒木 経惟
ARAKI Nobuyoshi
冬の旅

1989-90年
モノクロームプリント、バライタ紙
34.0×41.0cm



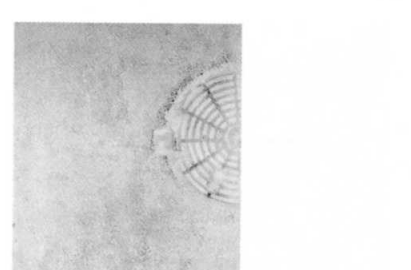
井田 照一
IDA Shoichi
Series: In front of, In back of-"Paper Back on Paperbag"

1975-76年
リトグラフ、コラージュ、紙
90.5×63.8cm



井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between-Between Vertical and Horizon-"Paper on Wall No. 5"

1976年
フロッタージュプリント、墨、紙
170.0×108.0cm



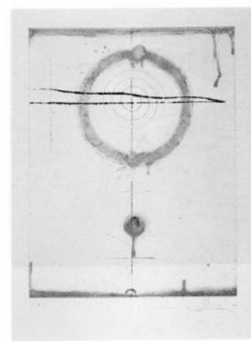
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between-Between Vertical and Horizon-"Paper on Road"

1976年
フロッタージュプリント、墨、紙
170.0×108.0cm



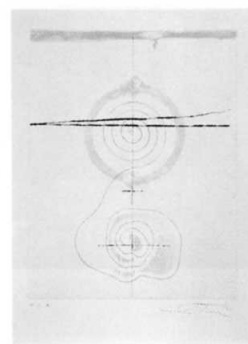
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between-Between Vertical
and Horizon-"Paper on Road No. 3"

1976年
フロッタージュブプリント、紙
147.0×99.0cm



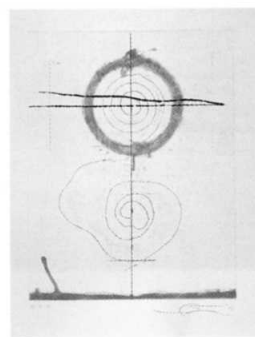
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between-Between Vertical
and Horizon"Well from Karma-Echo #14"

1989年
カラスピットバイトアクアチント、ドライポイン
ト、ソフトグランドエッチング、シーヌコレ、紙
41.7×34.0cm



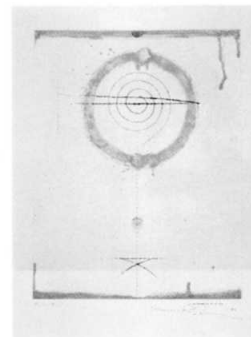
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between-Between Vertical
and Horizon"Well from Karma-Echo #15"

1989年
カラスピットバイトアクアチント、ドライポイン
ト、ソフトグランドエッチング、シーヌコレ、紙
41.7×34.0cm



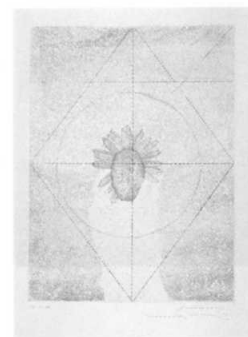
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between-Between Vertical
and Horizon"Well from Karma-Echo #16"

1989年
カラスピットバイトアクアチント、ドライポイン
ト、ソフトグランドエッチング、シーヌコレ、紙
41.7×34.0cm



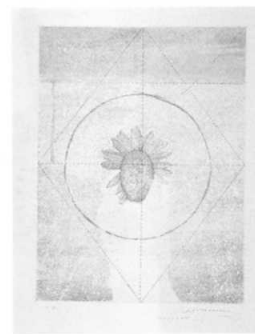
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between-Between Vertical
and Horizon"Well from Karma-Echo #17"

1989年
カラスピットバイトアクアチント、ドライポイン
ト、ソフトグランドエッチング、シーヌコレ、紙
41.7×34.0cm



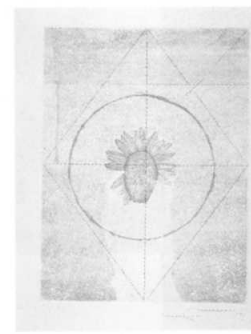
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between-Between Vertical
and Horizon"Well from Karma-Echo #18"

1989年
カラスピットバイトアクアチント、ドライポイン
ト、ソフトグランドエッチング、シーヌコレ、紙
48.0×38.0cm



井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between-Between Vertical
and Horizon"Well from Karma-Echo #19"

1989年
カラスピットバイトアクアチント、ドライポイン
ト、ソフトグランドエッチング、シーヌコレ、紙
48.0×38.0cm



井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between-Between Vertical
and Horizon"Well from Karma-Echo #20"

1989年
カラスピットバイトアクアチント、ドライポイン
ト、ソフトグランドエッチング、シーヌコレ、紙
48.0×38.0cm



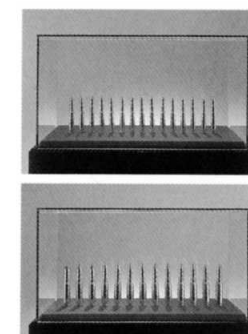
イチハラヒロコ
ICHIHARA Hiroko
美術中。

2005年 (1999年のオリジナルに基づく)
カッティングシート、蛍光灯ブラケット
10.0×37.0×9.0cm



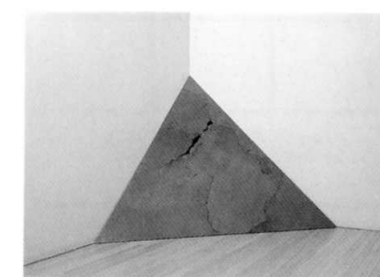
梅原 龍三郎
UMEHARA Ryuzaburo
少女アニーン

1908年
油彩、カンヴァス
41.0×32.8cm



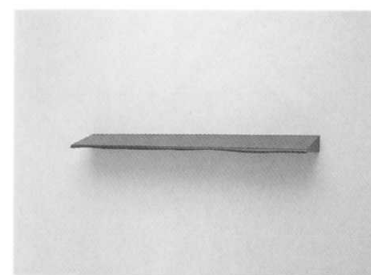
榎 忠
ENOKI Chu
葉英

1991年
葉英、鉄、金メッキ、ガラスケース
各130.0×80.0×40.0cm(2点組)



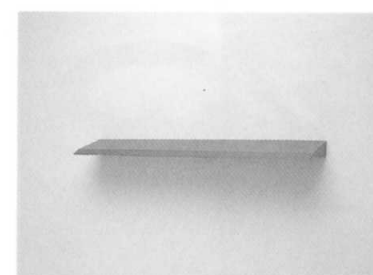
榎倉 康二
ENOKURA Koji
無題

1970年 (1995年再制作)
革、合板
220.0×217.0×4.0cm



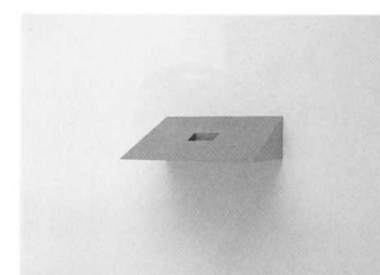
岡崎 和郎
OKAZAKI Kazuo
HISASHI

1977年
ABS樹脂に彩色
8.4×119.8×18.2cm



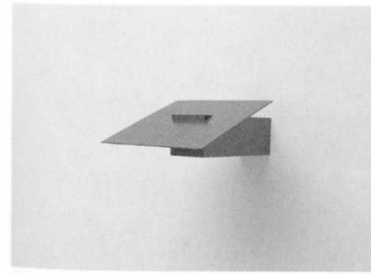
岡崎 和郎
OKAZAKI Kazuo
HISASHI

1977年
ABS樹脂に彩色
7.0×120.0×22.5cm



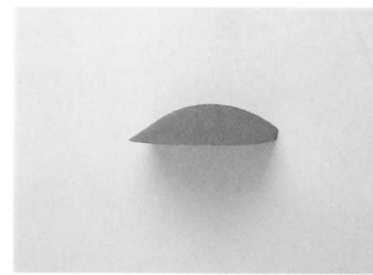
岡崎 和郎
OKAZAKI Kazuo
HISASHI

1979年
ABS樹脂に彩色
6.6×19.9×18.5cm



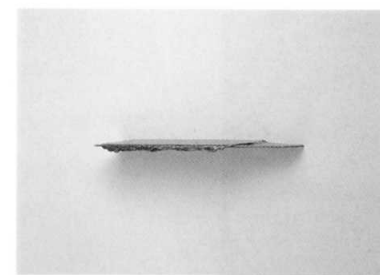
岡崎 和郎
OKAZAKI Kazuo
HISASHI

1979年
ABS樹脂に彩色
11.2×24.0×34.8cm



岡崎 和郎
OKAZAKI Kazuo
HISASHI

1979年
ABS樹脂に彩色
6.0×23.8×16.4cm



岡崎 和郎
OKAZAKI Kazuo
HISASHI

1983年
ブロンズ
5.0×79.0×16.5cm



岡崎 和郎
OKAZAKI Kazuo
HISASHI

1985年
ブロンズ
8.2×34.5×9.5cm



岡崎 和郎
OKAZAKI Kazuo
HISASHI (ドローイング)

1988年
インク、鉛筆、紙
61.5×262.0cm



岡崎 和郎
OKAZAKI Kazuo
HISASHI (ドローイング)

1988年
インク、色鉛筆、紙
104.5×288.5cm



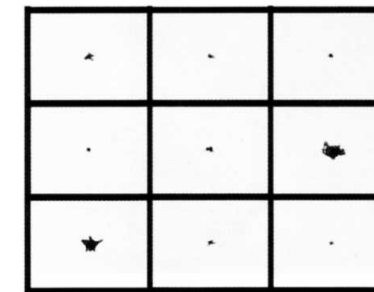
鬼頭 健吾
KITO Kengo
クエーサー

2004年
クリスタルプリント
72.0×86.0cm



鬼頭 健吾
KITO Kengo
クエーサー

2004年
クリスタルプリント
72.0×86.0cm



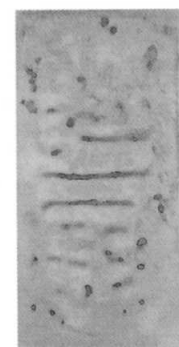
小林 耕平
Kohei KOBAYASHI
1-3-1

1999年
ヴィデオ
10分



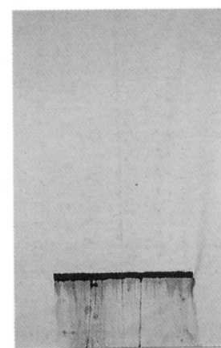
河口 龍夫
KAWAGUCHI Tatsuo
関係一貫

1978年
綿布、銅板、液体
200.0×100.0×1.4cm



河口 龍夫
KAWAGUCHI Tatsuo
関係一貫

1978年
綿布、銅板、液体
200.0×100.0×1.4cm



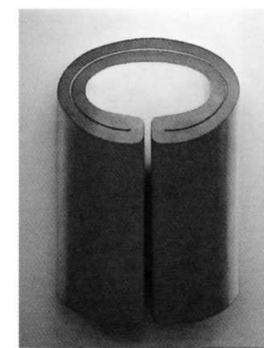
河口 龍夫
KAWAGUCHI Tatsuo
関係一貫

1979年
綿布、鉄板、雨水
385.0×235.0×6.0cm



坂本 繁二郎
SAKAMOTO Hanjiro
ボルテ・シャンチー

1922年
油彩、カンヴァス
31.9×40.9cm



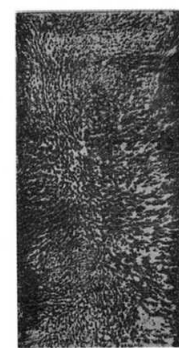
関根 伸夫
SEKINE Nobuo
位相 No. 13

1968年
合板、木、ラッカー
224.0×140.0×43.0cm



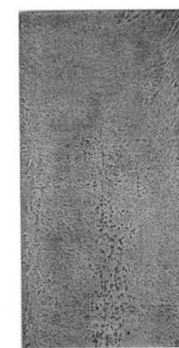
中西 夏之
NAKANISHI Natsuyuki
コンパクト・オブジェ

1968年
ポリエステル、鉄、砂鉄、磁石、鎖、針、赤い糸、
かみそりの刃、電球、コルク瓶
15.0×25.0×16.0cm



河口 龍夫
KAWAGUCHI Tatsuo
関係一貫

1981年
綿布、鉄板、雨水
183.3×91.7×1.5cm



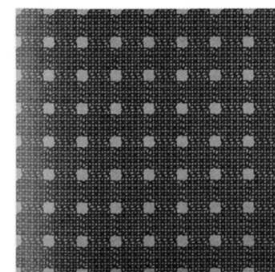
河口 龍夫
KAWAGUCHI Tatsuo
関係一貫

1981年
綿布、鉄板、雨水
183.2×91.7×1.5cm



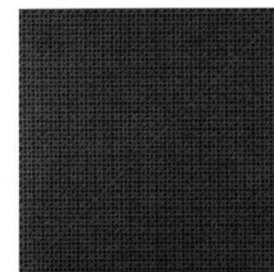
岸田 劉生
KISHIDA Ryusei
代々木附近

1915年
油彩、カンヴァス
37.7×45.4cm



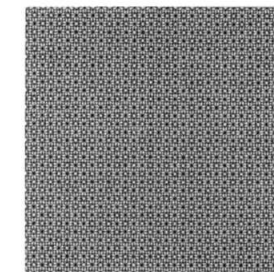
額田 宣彦
NUKADA Nobuhiko
ジャングル・ジム (97-26)

1997-98年
油彩、カンヴァス
194.0×194.0cm



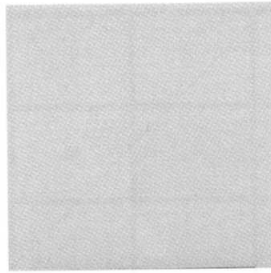
額田 宣彦
NUKADA Nobuhiko
ジャングル・ジム (99-3)

1997-98年
油彩、カンヴァス
116.7×116.7cm



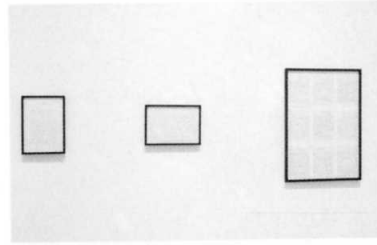
額田 宣彦
NUKADA Nobuhiko
ジャングル・ジム (01-1)

2001年
油彩、MDFパネル
240.0×240.0cm



額田 宣彦
NUKADA Nobuhiko
 ジャングル・ジム (03-1)

2002-03年
 油彩、MDFパネル
 100.0×100.0cm



松澤 有
MATSUZAWA Yutaka
 in bed

2004年
 フェルトペン、紙
 42.0×29.8cm、29.8×42.0cm、90.0×63.0cm



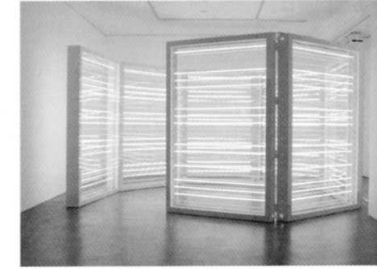
丸山 直文
MARUYAMA Naofumi
 breeze of river 2

2004年
 アクリル、綿布
 181.8×227.3cm



メル・ボックナー
Mel BOCHNER
 必ずしも芸術として見られる必要のないワーキング・ドローイングとそのほかの視覚的なもの

1966年
 作者が収集した制作ノート、下絵、下図のゼロロック・コピー100枚を取めた全く同じルーズリーフ・ノート4冊
 各：28.9×29.0×7.8cm



カーステン・ヘラー
Carsten HÖLLER
 ネオンエレベーター

2005年
 ネオン管154本、スチール・フレーム、アクリル板
 240.0×1071.0×20.0cm



ヴォルフガング・ライプ
Wolfgang LAIB
 ライスハウス

1996年
 大理石、米、花粉
 25.0×97.0×27.0cm



ヤノベケンジ
YANOBE Kenji
 森の映画館

2003年
 ミクストメディア
 228.0×218.0×218.0cm



横山 大観
YOKOYAMA Taikan
 帰牧

1905年
 膠彩、絹布
 115.0×50.5cm

寄贈作品 | 国内作家 | 美術



鬼頭 健吾
KITO Kengo
 クエーサー

2004年
 クリスタルプリント
 72.0×86.0cm



牧野 義雄
MAKINO Yoshio
 アルドブランディーニ二部

1908/09年
 水彩、紙
 24.7×28.2cm

寄贈作品 | 国外作家 | 美術



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
 マリティム・アルブスーその部分を除いて、さらに木は成長し続けるだろう

1968年 (2004年プリント)
 ゼラチンシルバープリント
 58.2×38.9cm 1968年 (2004年プリント)
 ゼラチンシルバープリント
 58.2×38.9cm

購入作品 | 国外作家 | 美術



クラウディオ・アバーテ
Claudio ABATE
 ビーノ・バスカーリと《ミサイルー平和の鳩》

1965年 (2005年プリント)
 ゼラチンシルバープリント
 40.0×30.0cm



クラウディオ・アバーテ
Claudio ABATE
 ビーノ・バスカーリと《ミサイルー平和の鳩》

1965年 (2005年プリント)
 ゼラチンシルバープリント
 40.0×30.0cm



クラウディオ・アバーテ
Claudio ABATE
 ビーノ・バスカーリと《ミサイルー平和の鳩》

1965年 (2005年プリント)
 ゼラチンシルバープリント
 40.0×30.0cm



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
 木と石

1969年 (2004年プリント)
 ゼラチンシルバープリント
 39.0×26.1cm



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
 木と石

1969年 (2004年プリント)
 ゼラチンシルバープリント
 39.0×26.1cm



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
 息吹ー7番目の

1975年 (2004年プリント)
 ゼラチンシルバープリント
 32.6×49.2cm

作品貸出実績

※会期が複数年度にまたがる巡回展は、
2005(平成17)年度のみとした。

作家名	作品名	展覧会名/会場	会期
コンスタンティン・ブランクウーシ	雄鶏	美術館に行こう！ーディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方ー 札幌芸術の森美術館 釧路市立美術館 石川県七尾美術館	2005年4月2日ー5月15日 2005年5月21日ー7月18日 2005年7月29日ー9月25日
村上 華岳	臙部樹下悉達太子禅定之図	村上華岳展	
村上 華岳	山淵含春図	京都国立近代美術館	2005年4月12日ー5月22日
村上 華岳	復古集	富山県水墨美術館	2005年5月28日ー7月3日
安井 曾太郎	花と少女	歿後50年 安井曾太郎展 宮城県美術館 茨城県近代美術館 三重県立美術館	2005年4月16日ー6月5日 2005年6月11日ー7月24日 2005年8月6日ー9月25日
岸田 劉生	麗子洋装之図 (青果持テル)	描かれた禁断の果実 りんごの秘密	
速水 御舟	果物	ひろしま美術館	2005年4月23日ー6月5日
高橋 節郎	ゴールデンデリシャス マルーン 1		
高橋 節郎	ゴールデンデリシャス カーマインレッド 1		
高橋 節郎	ゴールデンデリシャス エメラルドグリーン		
高橋 節郎	ゴールデンデリシャス アイボリーブラック		
ジェームス・アンソール	愛の園	ジェームス・アンソール展 東京都庭園美術館 三重県立美術館 福島県立美術館 北九州市立美術館 高松市美術館	2005年4月23日ー6月12日 2005年6月18日ー7月24日 2005年7月30日ー9月4日 2005年9月10日ー10月16日 2005年10月21日ー12月4日
アルベルト・ジャコメティ	ディエゴの胸像	世界の呼吸法ーアートの呼吸 呼吸のアート	2005年7月9日ー9月4日
ウィレム・デ・クーニング	二人の人物	川村記念美術館	
饗 嘯	21世紀への接近	こどもとおとなの美術入門 カラフル！ 群馬県立近代美術館	2005年7月30日ー9月4日
若林 奮	100粒の雨滴 I	若林奮版画展ーテッサンと彫刻のあいだ 世田谷美術館	2005年9月6日ー11月13日
宮脇 晴	自画像 (17才)	宮脇・晴・綾子親子展	2005年10月2日ー11月1日
宮脇 晴	ボタン	和銅博物館	
宮脇 晴	藪の道		
宮脇 晴	風景 大野川		
宮脇 晴	風景 海辺の農村		
宮脇 晴	樹上姉弟図		
宮脇 晴	子供たちと母		
宮脇 晴	鳥羽川の橋		
宮脇 晴	笛		
宮脇 晴	竹林に立つ像 (綾子古稀)		
宮脇 晴	庭の浴室		
宮脇 晴	櫟紅葉		
宮脇 晴	包帯のある自画像		
宮脇 綾子	かわいい		
宮脇 綾子	たこと並ぶ魚たち		
宮脇 綾子	やもり		
宮脇 綾子	あやめ		
宮脇 綾子	吊った唐辛子		
宮脇 綾子	長茄子		
宮脇 綾子	かたつむり		

作家名	作品名	展覧会名/会場	会期
宮脇 綾子	れんこん		
宮脇 綾子	小さな魚たち/高枝切		
宮脇 綾子	ひなげし		
宮脇 綾子	紫花菜		
宮脇 綾子	縞の魚百尾		
宮脇 綾子	かぶの花		
宮脇 綾子	京人参		
宮脇 綾子	枝のついた柿		
宮脇 綾子	リーガルペゴニア		
宮脇 綾子	彼岸花		
宮脇 綾子	いい形・いい布		
宮脇 綾子	木綿藍型染干柿		
宮脇 綾子	はりえ日記		
岸田 劉生	代々木附近	幻想のコレクション 芝川照吉 渋谷区立松濤美術館	2005年12月6日ー2006年1月29日
安田 靱彦	風来山人	再興院展 90回の歩み展	
富田 溪仙	吉野彩雨	日本橋三越	2005年10月11日ー11月5日
高松 次郎	点	もの派ー再考 国立国際美術館	2005年10月25日ー12月18日
サルバドール・ダリ	皿のない二つの目玉焼きを背に乗せ、 ポルトガルパンのかげらを犯そうと している平凡なフランスパン	ダリの宇宙とシュルレアリスムの巨匠展 愛媛県美術館	2006年2月10日ー3月26日
饗 嘯	21世紀への接近	虹のかなたに 饗嘯AYーO回顧1950-2006 福井県立美術館	2006年3月1日ー3月30日
ヤノベケンジ	森の映画館	ヤノベケンジとあなたがつくる未来の物語 森で会いましょう 大阪府立現代美術センター	2006年3月4日ー3月18日

1 | 講演会、シンポジウム

| 企画展「アルテ・ポーヴェラ」アーティスト・トーク

講師: ジルベルト・ソリオ(出品作家)
日時: 3月19日[土] 午後2時-3時30分
会場: 美術館講堂
参加人数: 35人

| 企画展「アルテ・ポーヴェラ」記念講演会
「アルテ・ポーヴェラをめぐる」

講師: 中原佑介(美術評論家)
日時: 4月30日[土] 午後2時-3時30分
会場: 美術館講堂
参加人数: 63人

| 企画展「ネイチャー&アート: ガウディ、ミロ、ダリ」
記念講演会

「自然との対話 ガウディ、ミロ、ダリ」
講師: ダニエル・ジラル・ミラクラ(美術史家/本展監修者)
日時: 7月16日[土] 午後2時-3時30分
会場: 美術館講堂
参加人数: 55人

| 企画展「ヤノベケンジ」作品集出版記念講演会
「ヤノベケンジ自作を語る」

講師: ヤノベケンジ(作家)
日時: 7月30日[土] 午後1時-2時30分
会場: 美術館講堂
参加人数: 170人

| 企画展「ヤノベケンジ」アーティスト・トーク
「子供都市からキングダルトンへ」

講師: ヤノベケンジ(作家)
日時: 9月25日[日] 午後1時-2時30分
会場: 美術館講堂
参加人数: 250人

| 開館10周年記念鼎談

谷口吉生(建築家)
鈴木博之(建築史家)
五十嵐太郎(建築史家)
日時: 10月22日[土] 午後3時-4時30分
場所: 美術館講堂
内容: 建築史の大家鈴木博之氏と、新たな建築批評を切り開き、現在の建築ブームを牽引する五十嵐太郎氏の両者の視点から谷口建築を検証したあと、谷口吉生氏に両者の質問にお答えいただく
参加人数: 230人

| 企画展「ペリー ペリー ヒューマン」記念講演会

講師: 小西信之(現代美術批評家、本展覧会ゲスト・キュレーター)
日時: 10月29日[土] 午後2時-3時30分
会場: 美術館講堂
参加人数: 116人

| 企画展「ペリー ペリー ヒューマン」アーティスト・レクチャー

①講師: 渡辺 豪(出品作家)
日時: 10月30日[日] 午後2時-3時30分
会場: 美術館講堂
参加人数: 86人
②講師: 古池大介(出品作家)
日時: 11月27日[土] 午後2時-3時30分
会場: 美術館講堂
参加人数: 32人

| 「VISION II」記念講演会

「豊田市美術館のコレクション」
講師: 青木正弘(当館学芸担当専門監)
日時: 1月15日[日] 午後2時-3時30分
会場: 美術館講堂
参加人数: 40名

2 | 講座、解説会、ギャラリートーク、ワークショップ

講座

| 企画展「アルテ・ポーヴェラ」美術史講座

「20世紀イタリア、未来派-アルテ・ポーヴェラ」
講師: 金井直(当館学芸員)
日時: ①4月9日[土]、②5月8日[日]
いずれも午後3時-4時
会場: 美術館講堂
参加人数: ①86人、②35人

| 企画展「谷口吉生」講座

「谷口吉生の建築について」
講師: 能勢陽子(当館学芸員)
日時: ①11月6日[日] ②12月11日[日]
いずれも午後2時-3時
会場: 美術館講堂
参加人数: ①38人、②40人

解説会、ギャラリートーク

| 企画展「ヤノベケンジ」作品解説会

講師: 都筑正敏(当館学芸員)

日時: ①7月3日[日]、②8月7日[日]、③8月21日[日]

いずれも午後3時-4時
会場: 企画展「ヤノベケンジ」会場
参加人数: ①42人、②20人、③55人

| 企画展「ネイチャー&アート: ガウディ、ミロ、ダリ」

作品解説会
講師: 西崎紀久(当館学芸員)
日時: ①8月6日[土]、②9月10日[土]
いずれも午後3時-4時
会場: 企画展「ネイチャー&アート: ガウディ、ミロ、ダリ」会場
参加人数: ①25人、②20人

| 友の会会員のためのヤノベケンジ・アーティスト・トーク

講師: ヤノベケンジ(作家)
日時: 9月24日[土] 午後2時-3時30分
会場: 美術館講堂
参加人数: 14人

| 企画展「谷口吉生」関連解説ツアー

「谷口建築設計研究所所員戸室太一氏による建築ツアー」
講師: 戸室太一(谷口建築設計研究所所員)
日時: 11月27日[日]
①午後2時-3時、②午後3時-4時
会場: 美術館内部及び周辺
内容: 谷口研究所所員戸室太一氏とともに、身体感覚を意識しながら、谷口建築の特徴について話を伺う
参加人数: ①30人、②30人(各回定員30名)

| 企画展「谷口吉生」関連建築ツアー

ガイド: 美術館スタッフ
日時: ①12月4日[日]、②12月11日[日]
いずれも午後2時-3時
会場: 美術館内部および周辺
内容: 美術館スタッフがバックヤードなど普段見ることのできない美術館の裏側を案内する
参加人数: ①20人、②18人

| 常設特別展「ペリー ペリー ヒューマン」ギャラリートーク

①ガイド: 小林耕平(出品作家)、作品ガイド・ボランティア、学芸員
日時: 10月30日[日] 午後1時-1時40分
会場: 企画展「ペリー ペリー ヒューマン」会場(展示室4)
参加人数: 43人
②ガイド: 加藤美佳(出品作家)、作品ガイド・ボランティア、学芸員
日時: 11月19日[土] 午後1時-1時50分
会場: 企画展「ペリー ペリー ヒューマン」会場(展示

室2)
参加人数: 86人
③ガイド: 鬼頭健吾(出品作家)、作品ガイド・ボランティア、学芸員
日時: 11月19日[土] 午後2時-2時50分
会場: 企画展「ペリー ペリー ヒューマン」会場(展示室1)

参加人数: 124人
④ガイド: 山本高之(出品作家)、作品ガイド・ボランティア、学芸員
日時: 12月3日[土] 午後1時-1時50分
会場: 企画展「ペリー ペリー ヒューマン」会場(展示室3)

参加人数: 26人
⑤ガイド: 古池大介(出品作家)、作品ガイド・ボランティア、学芸員
日時: 12月17日[土] 午後1時-1時50分
会場: 企画展「ペリー ペリー ヒューマン」会場(展示室4)

参加人数: 44人

| 「VISION II」学芸員による「この1点」解説

日時: ①1月22日[日]、②1月28日[土]、
③2月5日[日]、④2月11日[土]、⑤2月19日[日]、
⑥2月25日[土]、⑦3月5日[日]、⑧3月11日[土]、
⑨3月19日[日]、⑩3月25日[土]
いずれも午後3時より
延べ参加人数: 162名

キッズ・ツアー

| 企画展「ヤノベケンジ」夏休みキッズ・ツアー

対象: 小学生
定員: 各回20人(事前予約制)
リーダー: 学芸員+作品ガイド・ボランティア
日時: ①7月31日[日]、②8月7日[日]、
③8月21日[日]
いずれも午前11時-午後12時30分
参加人数: ①20人、②20人、③20人

ワークショップ

| 夏休み子どものワークショップ 1

「ジャイアント・トラヤんのかつらを作ろう!ーアート・アンド・ネイチャー」
対象: 小学生
定員: 各回20人(事前予約制)
会場: 展示室9ほか
内容: ヤノベケンジ展の展示作品である高さ7.5メートルの巨大ロボット《ジャイアント・トラヤん》のための、大きな「かつら」をつくるワークショップ。テーマは「変身」。

はじめに、参加した子どもたちを2組に分け、チームごとにスケッチを描いて、色・形・素材について話し合う。次にイメージがかたまったら、チームで協力しながら、さまざまな素材を組み合わせて巨大な「かつら」を作り上げる。最後に完成した「かつら」を、実際に《ジャイアント・トラヤん》の頭にかぶせて、記念撮影を行った。

リーダー: 川喜田奈保、岡部愛子
日時: ①7月22日[金]、②7月23日[土]
いずれも午後1時30分-4時30分
参加人数: ①18人、②24人



ワークショップ「ジャイアント・トラヤんのかつらを作ろう!」

| 夏休み子どものワークショップ 2

「SANPAIマンモス・プロジェクト」
対象: 小学生
定員: 各回20人(事前予約制)
会場: 展示室9ほか
内容: ヤノベケンジ展の展示作品である《ロッキング・マンモス》を主題にしたワークショップ。20世紀の産廃でつくられた《ロッキング・マンモス》が排泄する「うんこ」を、土に還る素材を使って自由に創造してつくる。また、《ロッキング・マンモス》誕生の秘話などから、未来に残していきたい大切なものを描いたメモとヤノベ氏からのメッセージなどを、子どもたちが自由に造形した産廃マンモスの「うんこ」の中へ封じ込めてタイムカプセルとした。
リーダー: 川喜田奈保、岡部愛子
日時: ①9月3日[土]、②9月4日[日]
いずれも午後1時30分-4時30分
参加人数: ①22人、②24人



ワークショップ「SANPAIマンモス・プロジェクト」

| 常設特別展「ペリー ペリー ヒューマン」

ワークショップ 1
「スポンジ彫刻をつくらう」
講師: 森北 伸(出品作家)
日時: 11月26日[土]午後1時-4時30分
会場: 美術館 隅櫓
参加人数: 15人



ワークショップ「スポンジ彫刻をつくらう」

| 常設特別展「ペリー ペリー ヒューマン」

ワークショップ 2
「スプーンを曲げよう」
講師: 山本高之(出品作家)
日時: 12月4日[日]午後1時-4時30分
会場: 美術館 会議室
参加人数: 18人



ワークショップ「スプーンを曲げよう」

3 コンサート、映画上映会、パフォーマンス 等

映画上映会

企画展「アルテ・ポーヴェラ」関連フィルム上映会 「アルテ・ポーヴェラの頃、イタリアは？」

ミケランジェロ・アントニオーニ「赤い砂漠」
日時：5月22日[日] 午後3時～
参加者数：32人

企画展「アルテ・ポーヴェラ」関連フィルム上映会 ピエル・パオロ・パゾリーニ「テオレマ」

日時：5月29日[日] 午後2時～
参加者数：36人

企画展「アルテ・ポーヴェラ」関連フィルム上映 +レクチャー

ルキノ・ヴィスコンティ「家族の肖像」

日時：6月5日[日] 午後3時～
参加者数：45人

レクチャー（講師：石田美紀）

日時：5月29日[日] 午後3時45分～
参加者数 36人

企画展「ヤノベケンジ」関連フィルム上映会 「ドキュメント・メガロマニア」

青木兼治
ヤノベケンジ映像コラボレーション作品、2005年

日時：①8月28日[日]、②9月18日[日]

いずれも午後2時～

会場：美術館講堂

参加人数：①63人、②75人

企画展「谷口吉生」関連フィルム上映会 「夢窓・夢との語らい」

日時：①11月20日[日]、②12月25日[日]

いずれも午後2時～3時

場所：美術館講堂

参加人数：①23人、②80人

パフォーマンス

企画展「ヤノベケンジ」作品集出版記念イベント 「AWAYAによるサウンド・パフォーマンス+トラヤン・ファイヤー」

日時：7月30日[日] ①午後2時45分～3時15分

②午後6時30分～7時

会場：企画展「ヤノベケンジ」会場（展示室1）

参加人数：220人



パフォーマンス「トラヤン・ファイヤー」

企画展「ヤノベケンジ」イベント

「トラヤン・パフォーマンス+トラヤン・ファイヤー」

日時：9月25日[日] ①午後2時30分～2時45分

②午後2時45分～3時

会場：企画展「ヤノベケンジ」会場（展示室1）

参加人数：340人

「mas」によるライブパフォーマンス+トラヤン・ファイヤー

日時：9月25日[日] 午後3時～4時10分

会場：企画展「ヤノベケンジ」会場（展示室1）

参加人数：220人

「AWAYAによるサウンド・パフォーマンス+トラヤン・ファイヤー」

日時：7月30日[土] 午後5時～5時30分

会場：企画展「ヤノベケンジ」会場（展示室1）

参加人数：120人

常設特別展「ベリー ベリー ヒューマン」パフォーマンス

出演：石田達郎（出品作家）

日時：①11月5日[土]、②11月19日[土]、③12月17日[土]

いずれも午後3時～3時30分

会場：美術館エントランス・スペース、テラス

参加人数：①82人、②170人、③94人

その他

企画展「ヤノベケンジ」作品集出版記念サイン会

日時：①7月30日[土] 午後3時30分～4時30分

②9月25日[土] 午後4時15分～

会場：企画展「ヤノベケンジ」会場入口

参加人数：①90人 ②150人

企画展「ヤノベケンジ」アーティスト・イン・レジデンス公開

日時：6月12日[日] 午後2時～4時

会場：豊田市内ヤノベケンジ・レジデンス工場

参加人数：42人

4 作品ガイドボランティア

美術館の教育・普及活動を支援、活性化していくことを目的に平成8年に募集、平成9年夏より活動を開始。平成17年4月現在、25名が登録。

ギャラリーツアー

内容：来館者との対話を交えながら、企画展/常設展の展示作品についてのギャラリーツアーを行った。

定時：毎日（木曜日を除く）午後2時～（関連事業開催日は午前11時～）

団体：団体からの事前予約によるツアー（小・中学校美術館学習は団体に含まれない）

定時	活動日数	242
	参加者数	740
団体	件数	41
	参加者数	1,129
	参加者数合計	1,969

小・中学校美術館学習関連活動

美術館学習のための事前出張授業

内容：作品ガイドボランティアが小学校を訪問し、美術館学習のための事前出張授業を実施。すべて事前予約制。

訪問校	児童数（クラス数）	授業開催日
明和小学校	12（1）	10月18日
広川台小学校	52（2）	10月19日
西保見小学校	33（1）	10月19日
平和小学校	62（2）	10月21日
築羽小学校	5（1）	10月24日
畝部小学校	54（2）	10月25日
御作小学校	15（1）	11月15日
竹村小学校	96（3）	11月22日
東広瀬小学校	11（1）	11月24日
平井小学校	65（2）	11月28日
美山小学校	146（4）	12月1日
則定小学校	7（1）	12月16日
駒場小学校	89（3）	1月11日
東山小学校	88（3）	1月11日
土橋小学校	63（2）	1月12日
小清水小学校	129（4）	1月13日
五ヶ丘小学校	26（1）	1月24日
	953（34）	

美術館学習ギャラリートーク

「美術館学習」の機会を利用して来館する全ての小、中学生を対象に、クラス単位でギャラリートークを実施した。



美術館学習ギャラリートークの様子

特別活動

カップリングトーク

ガイドボランティアによる対話型ギャラリートークと学芸員、出展作家による作品解説を組み合わせた「カップリングトーク」を実施

開催日：5月8日、15日、6月12日、10月30日、11月19日、12月3日、12月17日、1月25日、2月5日、11日、19日、25日、3月5日、11日、19日、25日

5 出版、ビデオ制作

出版、印刷物

『展覧会のご案内 2005～2006』

『年報（平成16年度版）』

『配布用ギャラリーガイド』

企画展、テーマ展、常設展に関する出版/印刷物は、各展覧会の掲載ページを参照のこと。

ビデオ制作

平成17年度自主企画展の記録ビデオ

「アルテ・ポーヴェラ展 DVD 15分

「ヤノベケンジ」展 DVD 15分

「ベリー ベリー ヒューマン」展 DVD 15分

6 小・中学校美術館学習

市内すべての小学4年生（79校）、中学3年生（26校）を対象に実施。平成17年度は10月～2月に来館し、合計8,472人の児童、生徒、引率教諭が常設、企画展を観覧した。

学習の基本的な流れ

- ①講堂へ入場
- ②館職員による概要説明、館紹介ビデオ視聴
- ③クラス単位で常設展、企画展を観覧
- ④講堂へ再入場、点呼後、退場

7 博物館実習

実習生：12人（7大学）

実習期間：平成17年8月5日[月]～8月9日[金]

計5日間

カリキュラム：

	実習内容
1日目	オリエンテーション、館内見学 美術館の機能 作品収集の意義
2日目	展示活動について 作品管理、保存、修復 展示の取り扱い
3日目	ワークショップに参加 ワークショップに参加 ワークショップに参加
4日目	美術館の施設管理 教育普及活動について ボランティアによるギャラリートーク体験
5日目	展覧会の企画から実施まで 企画展関連事業の準備 企画展関連事業に参加

利用実績

1 観覧者数

月別観覧者数 (人)

年	月	企画展			常設展			合計		
		日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均
17	4	26	2,344	90	26	389	15	26	2,733	105
	5	26	3,521	135	26	686	26	26	4,207	161
	6	17	3,579	211	17	262	15	17	3,841	226
	7	28	7,571	270	28	250	9	28	7,821	279
	8	26	9,498	365	26	107	4	26	9,605	369
	9	27	10,887	403	27	198	7	27	11,085	410
	10	10	3,625	227	16	1,619	101	16	5,244	328
	11	26	13,199	508	26	903	35	26	14,102	543
	12	22	6,108	278	22	710	32	22	6,818	310
18	1	0	0	0	21	3,883	185	21	3,883	185
	2	0	0	0	24	4,640	193	24	4,640	193
	3	0	0	0	27	3,444	128	27	3,444	128
合計		208	60,332	290	286	17,091	60	286	77,423	271

年度別観覧者数 (人)

年度	企画展			常設展			合計		
	日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均
7	57	50,600	888	119	20,881	175	119	71,481	601
8	148	59,858	404	311	36,444	117	311	96,302	310
9	235	35,479	151	302	29,686	98	302	65,165	216
10	191	33,476	175	302	23,655	78	302	57,131	189
11	181	31,499	174	307	36,754	120	307	68,253	222
12	162	26,614	164	301	21,538	72	301	48,152	160
13	140	44,633	319	303	13,700	45	303	58,333	193
14	167	22,271	133	303	23,478	77	303	45,749	151
15	153	44,829	293	304	20,992	6	304	65,821	217
16	211	51,999	246	293	8,975	31	293	60,974	208
17	208	60,332	290	286	17,091	60	286	77,423	271
合計	1,853	461,590	249	3,131	253,194	81	3,131	714,784	228

観覧者・ギャラリー等入場者累計 (人)

年度	日数	観覧者数	日数	ギャラリー入場者数	合計
7	119	71,481	-	-	71,481
8	311	96,302	84	23,581	119,883
9	302	65,165	124	18,089	83,254
10	302	57,131	130	22,696	79,827
11	307	68,253	195	23,269	91,522
12	301	48,152	238	28,253	76,405
13	303	58,333	233	29,215	87,548
14	303	45,749	197	29,181	74,930
15	304	65,821	213	31,502	97,323
16	293	60,974	137	15,669	76,643
17	286	77,423	183	26,984	104,407
合計	3,131	714,784	1,734	248,439	963,223

企画展観覧者数 (人)

開催期間	展覧会名	開催日数	観覧者数	1日平均
平成17年3月19日-6月12日	アルテ・ポーヴェラ/貧しい芸術	75	9,548	127
平成17年6月24日-10月2日	ヤノベケンジ-キングダカルテン	89	9,262	104
平成17年7月16日-9月19日	ネイチャー&アート: ガウディ、ミロ、ダリ	58	21,080	363
平成17年10月22日-12月25日	ニューヨーク近代美術館 (MOMA) 巡回建築展谷口吉夫のミュージアム	56	21,806	389

2 ギャラリー利用状況

開催期間	開催日数	展覧会名	入場者数
4月5日(火)-4月10日(日)	6	第12回私にも描けました展	772
4月12日(火)-4月17日(日)	6	第1回珊松会日本画展	336
4月19日(火)-5月1日(日)	12	第4回豊田市収蔵美術品展 加納俊治寄贈和紙工芸展	2,399
5月3日(火)-5月8日(日)	6	坊中静六04~05年展	789
5月17日(火)-5月22日(日)	6	二科 三河グループ展	345
5月24日(火)-5月29日(日)	6	第3回 ラ・ヴァレー豊田展	523
5月31日(火)-6月5日(日)	6	加藤松雄2001~2005年作品展	736
6月7日(火)-6月12日(日)	6	K-TEN12	1,276
6月28日(火)-7月3日(日)	6	鄭爽版画展	560
7月5日(火)-7月17日(日)	12	日英アートフォーラムⅢ	1,193
7月26日(火)-7月31日(日)	6	第9回 三河水墨画会	591
8月2日(火)-8月7日(日)	6	成瀬弘写真展	1,173
8月9日(火)-8月14日(日)	6	ambi-案美	942
8月16日(火)-8月21日(日)	6	SHELTER under a tree 太田元弘展	673
8月23日(火)-8月28日(日)	6	野口翠蓮 揺れる心 Work2002~2004	622
9月6日(火)-9月11日(日)	6	Art on Paper	611
9月13日(火)-9月18日(日)	6	第19回 豊田女流展	894
9月20日(火)-9月25日(日)	6	第4回 新碧の会	681
9月27日(火)-10月2日(日)	6	農翔会展	656
10月22日(火)-10月23日(日)	2	第25回とよた子ども造形フェスティバル「なかよしコーナー」	759
10月25日(火)-10月30日(日)	6	HEART 渡辺・中村二人展	498
11月1日(火)-11月6日(日)	6	童子苑10周年記念特別展「玄々齋と又日庵の茶道具」	1,361
11月8日(火)-11月13日(日)	6	豊田市美術館開館10周年記念企画「ぼく・わたしが見た美術館」絵画・フォトコンテスト	2,204
11月15日(火)-11月20日(日)	6	それぞれの染 伽羅 six	1,303
11月26日(土)-12月4日(日)	8	第43回豊田市民美術展	1,761
12月7日(水)-12月18日(日)	11	第8回障害者作品展	1,620
12月20日(火)-12月25日(日)	6	キルトハーツ20th Anniversaryキルト展	1,227
3月28日(火)-4月2日(日)	6	第13回私にも描けました展	853
合計	183		27,358

※平成7年11月11日開館
 ※平成8年7月23日(218日目) 来館者10万人達成
 ※平成9年11月9日(621日目) 来館者20万人達成
 ※平成11年5月14日(1,073日目) 来館者30万人達成
 ※平成13年1月21日(1,582日目) 来館者40万人達成
 ※平成15年1月12日(2,180日目) 来館者50万人達成
 ※平成16年6月17日(2,620日目) 来館者60万人達成
 ※平成17年12月17日(3,052日目) 来館者70万人達成

3 | 図書閲覧室利用状況

(人)

年	月	利用人数
17	4	264
	5	325
	6	288
	7	345
	8	454
	9	428
	10	179
	11	406
	12	274
18	1	176
	2	175
	3	198
合計		3,512
1日平均		12

4 | レストラン等付属施設利用状況

(人)

年	月	日数	レストラン	ミュージアム	茶室童子苑	合計
17	4	26	1,701	782	1,509	3,992
	5	26	2,127	1,145	1,192	4,464
	6	18	1,251	856	414	2,521
	7	28	2,426	1,377	873	4,676
	8	26	3,445	1,808	910	6,163
	9	27	2,845	2,165	1,054	6,064
	10	16	1,166	792	1,073	3,031
	11	26	2,723	1,497	2,143	6,363
	12	22	2,228	1,314	793	4,335
18	1	21	1,050	404	844	2,298
	2	24	1,703	529	415	2,647
	3	28	1,497	761	794	3,052
合計		288	24,162	13,430	12,014	49,606

5 | 利用者総数

年度別利用者数

(人)

年度	日数	美術館			付属施設			合計
		展覧会	ギャラリー	図書閲覧室	レストラン	ミュージアムショップ	茶室童子苑	
7	57	71,481	-		20,050	26,464	9,646	127,641
8	148	96,302	23,581	6,075	31,872	31,898	13,097	202,825
9	235	65,165	18,089	4,094	23,331	9,887	14,955	135,521
10	191	57,131	22,696	3,898	19,664	9,973	13,143	126,505
11	181	68,253	23,269	2,586	21,063	11,670	13,449	140,290
12	162	48,152	28,253	2,791	17,899	8,831	10,476	116,402
13	140	58,333	29,215	2,763	19,509	6,624	11,544	127,988
14	167	45,749	29,181	3,621	21,247	9,578	12,753	122,129
15	153	65,821	31,502	3,430	25,823	9,862	13,039	149,477
16	211	60,974	15,669	3,370	20,124	11,155	11,076	122,368
17	208	77,423	27,358	3,512	24,162	13,430	12,014	157,899
合計	1,796	714,784	248,813	36,140	244,744	149,372	135,192	1,529,045

注：講堂一般利用、七州城隅櫓、又日亭、庭園イベント利用者数を除く。

評価実績

1 定量評価のための自己点検表 美術館活動の基盤となる指標(53項目)・実績値・目標値

部門	方針	評価指標	16年度	17年度	20年度	調査方法		
			実績値	実績値	目標値	利用者調査	非利用者調査	業務管理調査
1 収集・保存	収集方針に基づく質の高い作品を継続的に収集することによって、価値の高いコレクションを形成し、将来の世代へ継承する。	① 収集作品が教科書等の教育刊行物に掲載された累計点数	累計9点	累計10点	累計10点		○	
		② 収集作品に関する記事や写真の掲載件数(新聞・雑誌・専門書等)	92件	75件	*			○
		③ 収集作品の他館への貸出し件数	69件	67件	*			○
		④ 収蔵庫環境の良さ(生物調査と適正温湿度の維持)	良好	良好	良好			○
		⑤ 展示室環境の良さ(生物調査と適正温湿度の維持)	良好	良好	良好			○
		⑥ 作品修復の件数	80件	214件	*			○
2 調査・研究	美術作品及び美術文化に関する調査研究を行い、新たな価値を見出し、社会的知的活動に貢献するとともに、美術及び美術館活動の社会的価値を高める。	① 自主企画の刊行物(図録、報告書等)の編集発行件数	4件	2件	累計20件			○
		② 自主企画の刊行物(図録、報告書等)への論文等執筆件数	4件	4件	累計30件			○
		③ 自主企画の講演会、講座、シンポジウム等での発表件数	22件	5件	累計5件			○
		④ 美術館業務に関する研究内容(内務資料)の執筆件数	1件	0	累計5件			○
		⑤ 自主企画以外の刊行物、新聞等への論文執筆寄稿件数	10件	26件	*		○	
		⑥ 講義、講演会、講座等の講師派遣件数(調査研究に基づく内容)	6件	8件	*			○
3 展示	明確なテーマにより、心に潤いを与え、知的好奇心を刺激する展覧会を開催する。	① 観覧者アンケート満足度(満足+ほぼ満足)の割合	70.9%	73.8%	平均75%	○		
		② 展示から感動や刺激といったインパクトを受けた観覧者の割合	83.6%	85.8%	平均80%	○		
		③ 観覧体験を他者に伝え来館を勧めたいと感じた観覧者の割合	73.5%	80.8%	平均75%	○		
		④ 専門誌や新聞で評論として取り上げられた件数	14件	23件	*		○	
		⑤ 年間展覧会観覧者数	60,974人	77,423人	累計33万人			○
		⑥ 収集作品の新規展示点数	42点	47点	*			○
4 教育	収集作品と展覧会の個性を生かした様々な教育プログラムを提供し、来館者が美術の意義や楽しさを見出せるよう支援する。	① 講座等の参加者の満足度	85.0%	98.0%	平均75%	○		
		② 職員の社会教育施設への講師等派遣件数	3件、	2件	*			○
		③ 講演会、講座、ワークショップ等の教育活動開催数と参加者数	28件、88日、3,639人	36件、93日、5,200人	累計80件、1万人			○
		④ 作品ガイドボランティアのガイド実績(日数・件数・人数)	246日409人、団体45件1,505人	242日、740人、団体41件1,129人	*		○	
		⑤ 学芸員の作品解説実績(件数・人数)	7件、30回、529人	3件、18日、324人	累計30件			○
		⑥ 鑑賞及び美術館活動の手引書及びチラシの発行件数	9件	5件	累計40件			○
		⑦ 図書閲覧室利用者数	3,388人	3,314人	累計2万人			○
		⑧ 図書・映像資料へのアクセス可能点数(整理状況)	図書12,813 映像174	図書13,300 映像177	累計2.5万件			○
5 普及・広報	人々が求める情報を多様なメディアを活用して公開・提供し、美術館運営全般についての理解活動を進める。	① 新聞雑誌で展覧会以外の美術館活動記事が掲載された件数	8件	15件	*		○	
		② 新聞、雑誌、テレビ等への情報提供件数	報道発表13件+芸能記者クラブ6回	報道発表27件+芸能記者クラブ7回	累計100件		○	
		③ 新聞、雑誌(情報紙を除く)、テレビ等に報道掲載された件数	92件(新聞58雑誌27専門誌11TV6)	171件(新聞88雑誌51専門誌25TV7)	*		○	
		④ ホームページへのアクセス件数	170115件	266,687件	累計100万件		○	
		⑤ 年報等への評価内容の公開	実施	実施	毎年実施			○
		⑥ 文書やメールに対する回答件数(モニター、業務用を除く)	37件	22件	*		○	
6 社会との連携	市民意識の把握と対話に努め、地域社会の支持を基盤とした美術館運営を進め、文化的・経済的波及効果を生み出す。	① 美術館モニターの参加満足度	未実施	未実施	平均75%	○		
		② 友の会会員の満足度	未実施	未実施	平均70%	○		
		③ モニター意見や市民からの提案の実現件数	新規6件	新規6件	累計30件			○
		④ 美術館(介助)ボランティアの活動人数、回数	20人、181回	20人、159回	*		○	
		⑤ 美術館友の会の会員数と友の会事業参加者数	326人、105人	371人、171人(77-27人鑑賞会等144人)	500人			○
		⑥ 美術館活動に対する市民団体や企業、商店街、自治区等の参画	協賛605万円相当、勤労者団体連携	協賛400万円相当、商店街クーポン	*		○	
		⑦ 博物館実習の受け入れ実施(人数・プログラム日数)	16人、5日	12人、5日	累計60人、25日			
7 施設の整備・運営管理	来館者に最良の鑑賞空間と安全で快適なサービスを提供する。	① 展示作品の見やすさに対する満足度(配置・空間・鑑賞距離)	75.80%	79.0%	平均75%	○		
		② 施設の雰囲気・美観に対する満足度	84.90%	85.5%	平均80%	○		
		③ 施設へのアクセス(交通の便)に対する満足度	58.00%	63.4%	平均70%	○		
		④ 窓口案内職員対応に対する満足度	77.40%	80.2%	平均75%	○		
		⑤ 観覧料金の設定等に対する満足度	60.00%	79.4%	平均70%	○		
		⑥ 施設の運営管理全般に対する苦情処理件数	13件	12件以下	平均年間50件以下		○	
		⑦ 美術館施設利用者総数(展覧会・ギャラリー・図書室・講堂・童子苑・七州城隅櫓・又日亭・レストラン・ショップ) ※述べ人数	140,218人	179,839人	累計80万人			○

部門	方針	評価指標	16年度	17年度	20年度	調査方法		
			実績値	実績値	目標値	利用者調査	非利用者調査	業務管理調査
8 組織運営	職員の意識改革を進め、目的志向、成果志向、市民志向による運営を行い、徹底したコスト意識により最大の費用対効果を生む。	① 年間重点目標の達成度	来館者92.4% 教育事業125%	来館者117.3% 教育事業236.2%	*			○
		② 全体収支比率: 歳入決算額 / (歳出決算額 - 作品収集費 - 臨時的経費)	9.5%	12.9%	平均12%			○
		③ 展覧会収支: (観覧料 + 図録売上) / 展覧会開催費	23.8%	38.5%	平均35%		○	
		④ 利用者一人当たり経費: (歳出決算額 - 作品収集費 - 用地費等臨時経費) / 施設利用者数	3,207円	2,359円	平均2,900円		○	
		⑤ 観覧者一人当たり経費: 展覧会決算額 / 観覧者数	2,021円	1,266円	平均1,650円		○	
		⑥ アメニティ施設収支: 売上額・使用料収入 / 委託料・運営経費	37.4%	44.5%	平均40%		○	
		⑦ 美術館運営に関する視察件数	3件	3件	*			○

2 | 評価実施計画

(1) 美術館評価の意義

美術館の使命(存在価値)を多角的に明らかにする。

(2) 美術館評価制度の目的

使命の達成度を確認し、継続的な経営改善に生かす。

(3) 評価の手法

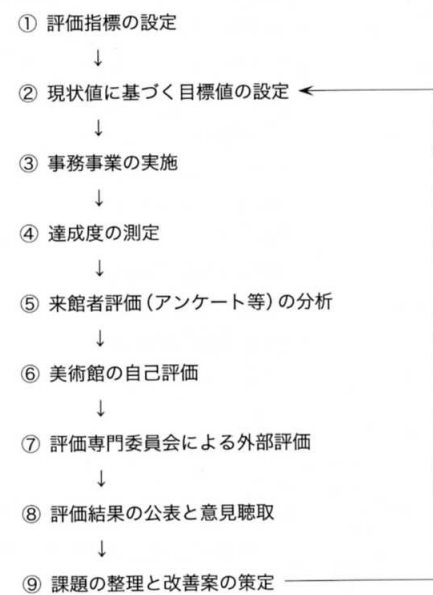
① 使命の達成度をできる限り数値化して定量的な自己点検を行う。

② 自己点検結果と来館者評価をあわせた自己評価を行う。

③ 数値化に適さない分野または補完が必要な内容については専門家による定性的評価を行う。

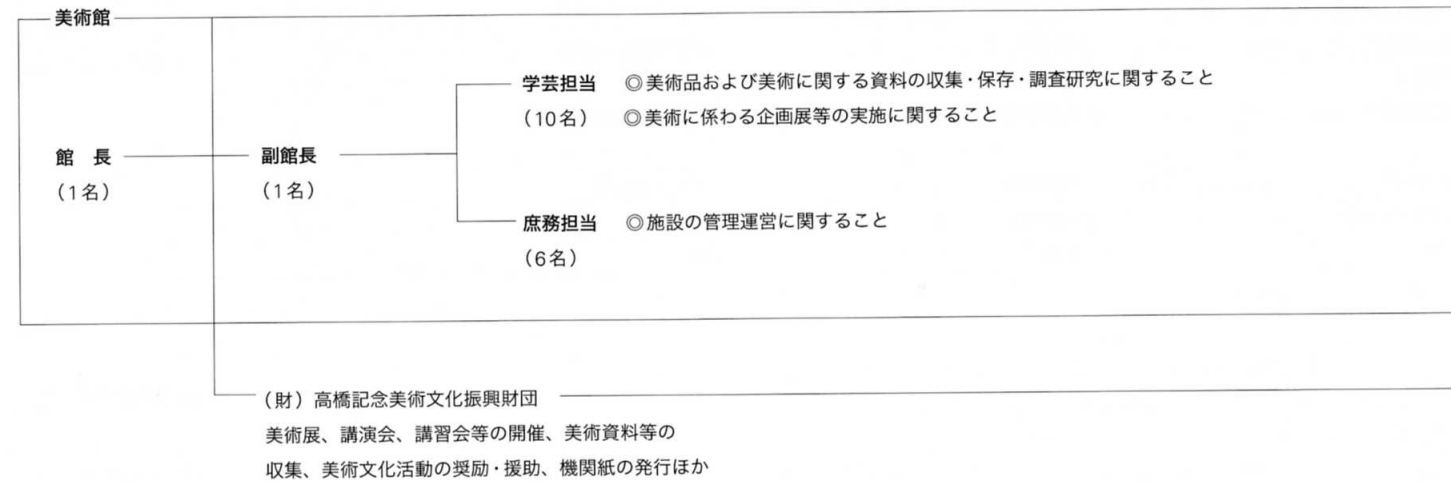
※ 展示・教育・広報活動について定性的評価を試行中である。

(4) 評価の流れ



組織

1 組織図 ※平成17年4月1日現在



※ 美術館の分掌事務

- ◎豊田市美術館の管理運営に関すること
- ◎美術品及び美術に関する資料の収集に関すること
- ◎美術品及び美術に関する資料の保管及び取扱いに関すること
- ◎美術品及び美術に関する資料の展示に関すること
- ◎美術に関する展覧会等の事業の実施に関すること
- ◎美術に係る調査研究に関すること
- ◎美術の啓発に関すること

※(財)高橋記念美術文化振興財団は、事務局を豊田市美術館内に置き、美術館職員がその事務事業の一部を補佐する。

2 美術館運営協議会

より多くの感動を与え、親しまれる美術館運営を目指して、運営協議会を設置し、展覧会の開催、美術文化の普及、来館者サービスの現状と課題について協議しました。

- ①委員 10名
- ②開催日 平成17年5月24日(火)
10月27日(木)
平成18年2月22日(木)

3 美術品収集委員会

今年度は、横山大観<帰牧>をはじめ54件の美術品購入と7件の寄贈受け入れについての審査及び評価がされ、すべての案件が可決されました。

- ①委員 6名
- ②開催日 平成17年7月2日(土)
平成18年2月24日(金)

4 美術館評価専門委員会

美術館活動を客観的に評価・検証するため、今年度9月に新たに同委員会を設置し、展覧会活動を中心に評価活動を試行するとともに、評価制度に関するご意見をいただきました。

- ①委員 4名
- ②開催日 平成17年9月3日(土)
11月26日(土)
平成18年3月6日(月)

5 美術館モニター

美術館の運営・管理について広く市民の意見を把握し、美術館を市民に親しまれ、利用しやすい施設とするためご意見をいただきました。

- ①発足 平成14年3月(任期2年)
- ②人数 17人
- ③会議室 平成17年6月25日(土)
10月29日(土)
平成18年2月25日(土)

6 美術館ボランティア

来館者の介助及び館内案内の他、新聞記事や図書の整理、アンケートの収集などを行いました。

- ①発足 平成7年11月
- ②登録人数 20人 ※平成17年4月1日現在。
- ③活動内容 ◎高齢者、障害者等の介助及び誘導
◎館内の案内(作品解説は除く。)
◎庶務業務の補助 など

7 作品ガイドボランティア

毎日(木曜日を除く。)午後2時から来館者と対話しながら作品の魅力を紹介し、鑑賞のガイドをするギャラリートークの他、美術館学習での小・中学生やガイドを希望する団体等への対応をしました。

- ①発足 平成9年7月
- ②登録人数 25人 ※平成17年4月1日現在
- ③活動内容 ◎常設展・企画展でのギャラリートアー
◎美術館学習のための事前出張授業
◎団体に来館者への作品解説 など

関係法規

豊田市美術館条例

平成7年3月31日

条例第1号

趣旨

第1条 この条例は、博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき、豊田市美術館の設置及び管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

設置

第2条 美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため、豊田市美術館(以下「美術館」という。)を豊田市小坂本町8丁目5番地1に設置する。

事業

第3条 美術館においては、次に掲げる事業を行う。

- 1) 美術品及び美術に関する資料(以下「美術品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- 2) 美術に関する専門的な調査研究を行うこと。
- 3) 美術に関する解説書、図録、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- 4) 美術に関する講演会、講習会等を開催すること。
- 5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の設置目的を達成するため、教育委員会が必要と認めた事業

観覧料

第4条 美術館が主催して展示する美術品等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。ただし、中学生以下の者は、無料とする。

利用の許可

第5条 別表第2に掲げる施設(以下「施設」という。)を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

- 2) 学術研究等のため、美術品等の撮影、模写、模造、熟覧等(以下「美術品等の利用」という。)をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
- 3) 教育委員会は、美術館の管理上必要があると認めたときは、前2項の許可に条件を付することができる。

利用の不許可

第6条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、施設の利用及び美術品等の利用を許可しない。

- 1) 利用目的に違反すると認めたとき。
- 2) 商業宣伝、営業等の行為が主たる目的であると認めたとき。
- 3) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めたとき。
- 4) その他管理上支障があると認めたとき。

許可の取消し等

第7条 教育委員会は、第5条第1項又は第2項の規定により許可を受けた者(以下「利用者」という。)が次の各号のいずれかに該当するとき、又は公益上特に必要があると認めたときは、許可を取り消し、利用の中止若しくは停止を命じ、又は許可に付された条件を変更することができる。

- 1) この条例又はこれに基づく教育委員会規則の規定に違反したとき。
- 2) 許可に付された条件に違反したとき。

(3) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。

2) 前項の規定による許可の取消し等によって利用者に損害が生じた場合においても、市は、その責めを負わないものとする。

使用料

第8条 利用者(第5条第1項の規定により許可を受けた者に限る。)は、許可を受けたときにおいて、別表第2に定める使用料を納付しなければならない。

観覧料等の減免

第9条 市長は、特別の事由があると認めたときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

観覧料等の不還付

第10条 既納の観覧料及び使用料は、還付しない。ただし、市長において特別の事由があると認めたときは、その全部又は一部を還付することができる。

権利の譲渡等の禁止

第11条 利用者は、その利用の権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

設備の承認及び原状回復

第12条 利用者は、その利用に際して特別の設備をしようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。

- 2) 利用者は、前項の規定により特別の設備をしたときは、利用後速やかに原状に回復しなければならない。
- 3) 利用者が前項の義務を履行しないときは、市がこれを代行し、その費用を利用者から徴収することができる。

入館の制限

第13条 教育委員会は、美術館内の秩序を乱し、又は乱すおそれがあると認めた者に対して、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

損害賠償

第14条 美術館の入館者及び利用者は、故意又は過失により建物、附属設備又は物品を破損し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長が損害を賠償させることが適当でないと認めたときは、この限りでない。

美術館運営協議会

第15条 法第20条第1項の規定に基づき、美術館に豊田市美術館運営協議会(以下「運営協議会」という。)を置く。

- 2) 運営協議会は、委員10人以内をもって組織する。
- 3) 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4) 前項本文の規定にかかわらず、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

委任

第16条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附則

施行期日

- 1) この条例は、平成7年11月11日(以下「施行日」という。)から施行する。

準備行為

- 2) この条例の規定に基づく利用許可の申請その他の準備行為は、施行日前においても行うことができる。

附則(平成15年3月28日条例第10号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附則(平成17年3月29日条例第24号)

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

別表第1(第4条関係)

区分		単位	観覧料(円)	
			個人	20人以上の団体
常設展示	一般	1人1回	300	250
	大学生又は高校生	1人1回	200	150
常設特別展示		1人1回	2,000円以内で市長がその都度定める額	
企画展示		1人1回		

備考「大学生又は高校生」とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校若しくは専修学校に在学する学生若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。

別表第2(第5条、第8条関係)

豊田市美術館使用料			
1 ギャラリー使用料			
区分	利用目的	単位	使用料(円)
ギャラリー	美術に関する展覧会等の開催	1日	12,000

2 茶室使用料				
区分	利用目的	使用料(円)		
		午前 (9:00~13:00)	午後 (13:00~17:00)	夜間 (17:00~21:00)
茶室	茶会の開催	5,000	5,000	5,000

豊田市美術館管理規則

平成7年9月29日

教育委員会規則第8号

趣旨

第1条 この規則は、豊田市美術館条例(平成7年条例第1号。以下「条例」という。)第15条の規定に基づき、豊田市美術館(以下「美術館」という。)の管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

閉館日及び開館時間

第2条 美術館の開館日は、次に掲げる日を除く日とする。

- 1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日当たたる日を除く。)
- 2) 12月28日から翌年1月4日まで
- 2) 美術館の開館時間は、午前10時から午後5時30分までとする。ただし、茶室にあっては、午前9時から午後9時までとする。
- 3) 前項の規定にかかわらず、美術館が主催して展示する美術品等(条例第3条第1号に規定する美術品等をいう。以下同じ。)の展示会場(以下「展示会場」という。)へ入場できる時間(次項において「入場時間」という。)は、午前10時から午後5時までとする。
- 4) 前3項の規定にかかわらず、教育委員会は、特に必要があると認めたときは、臨時に閉館日、閉館時間及び入場時間を変更することができる。

観覧券の交付

第3条 美術館が主催して展示する美術品等を観覧しようとする者(条例第4条各号に規定する者、第10条の規定により観覧料の全額を免除される者及び第11条に規定する優待券及び招待券により観覧しようとする者を除く。)は、観覧料の納付と引換えに豊田市美術館観覧券(様式第1号。以下「観覧券」という。)の交付を受けるものとする。

観覧券の提示

第4条 前条の規定により観覧券の交付を受けた者は、展示会場へ入場する際に当該観覧券を入口の係員に提示しなければならない。

利用の手続

第5条 条例第5条第1項の規定により施設の利用許可を受けようとする者又は同条第2項の規定により美術品等の利用許可を受けようとする者(以下「申請者」という。)は、豊田市美術館利用許可申請書(様式第2号。以下「申請書」という。)を教育委員会に提出しなければならない。

2) 前項の場合において、条例第5条第2項の美術品等の利用の申請者は、利用しようとする美術品等が寄託されたものであるときは当該寄託者の同意を得た書面を、他に著作権者があるものであるときは当該著作権者の同意を得た書面をそれぞれ必要に応じて添付しなければならない。

3) 申請者は、前2項の申請書その他必要な書面を別表第1に定める区分に従い同表に掲げる期間内に提出しなければならない。ただし、教育委員会が特に必要と認めたときは、この限りでない。

利用許可書の交付

第6条 教育委員会は、利用を許可したときは、豊田市美術館利用許可書(様式第3号。以下「許可書」という。)を申請者に交付する。

利用期間

第7条 施設を引き続き利用することのできる期間(以下「利用期間」という。)は、2日間とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めたときは、この限りでない。
2 利用期間には、休館日を含めないものとする。

利用の変更

第8条 利用許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、許可書に記載された事項を変更しようとするときは、豊田市美術館利用変更許可申請書(様式第4号)に許可書を添えて教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。
2 教育委員会は、前項の規定により利用の変更を許可したときは、豊田市美術館利用変更許可書(様式第5号。以下「変更許可書」という。)を利用者に交付する。
3 前項の規定により利用の変更を許可された場合において、既納の使用料の額が変更後の使用料の額に対して不足額を生じるときは、利用者は、直ちに当該不足額を納入しなければならない。

利用許可の取消し

第9条 利用者は、許可の取消しを受けようとするときは、豊田市美術館利用許可取消申請書(様式第6号)に許可書又は変更許可書を添えて、教育委員会に提出しなければならない。
2 教育委員会は、前項の規定により許可を取り消したときは、豊田市美術館利用許可取消通知書(様式第7号)を利用者に交付する。

観覧料等の減免

第10条 条例第9条の規定により観覧料及び使用料を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。
(1) 中学校若しくは小学校又はこれらに準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として生徒又は児童の引率者が美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額
(2) 市内及び西加茂郡三好町内の高等学校又はこれに準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として生徒及びこれらの者の引率者が美術館の常設展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額
(3) 市内及び西加茂郡三好町内に住所を有する者で次に掲げる手帳のいずれかの交付を受けているもの及びその介添者が当該手帳を係員に提示し確認を受けて美術館の常設展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額
ア 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項に規定する身体障害者手帳
イ 戦傷病者特別援護法(昭和38年法律第168号)第4条に規定する戦傷病者手帳
ウ 厚生労働大臣の定めるところにより交付された療育手帳
(4) 市内及び西加茂郡三好町内に住所を有する者で次に掲げる証書のいずれかの交付を受けているものが当該証書を係員に提示し確認を受けて美術館の常設展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額
ア 老人保健法施行規則(昭和58年厚生省令第2号)第5条に規定する医療受給者証
イ 市町村が実施する母子家庭等医療費支給事業において当該母子家庭等医療費の受給者に対し交付する受給者証
(5) 市又は市の機関が主催し、又は他の団体と共催する行事に施設を利用する場合 使用料の全額
(6) その他教育委員会が特別の事由があると認められた場合 その都度教育委員会が定める額
2 前項(第3号及び第4号を除く。)の規定により観覧料の減免を受けようとする者は観覧日の前7日までに豊田市美術館観覧料減免申請書(様式第8号)を、使用料の減免を受けようとする者は第5条第1項に規定する申請書の提出に併せて豊田市美

術館使用料減免申請書(様式第9号)を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が特に必要ないと認めたときは、この限りでない。
3 教育委員会は、観覧料の減免申請を承認したときは豊田市美術館観覧料減免承認書(様式第10号)を、使用料の減免申請を承認したときは豊田市美術館使用料減免承認書(様式第11号)を交付する。

優待券等

第11条 教育委員会は、特に必要があると認めたときは、優待券又は招待券を発行することができる。

観覧料等の還付

第12条 条例第10条ただし書の規定による観覧料及び使用料の還付は、別表第2に定める基準によるものとする。

利用責任者

第13条 利用者は、美術館の施設及び美術品等の利用に係る規律を保持するため、あらかじめ利用責任者を定めておかななければならない。

事前打合せ

第14条 利用者は、事前に係員と利用方法その他必要な事項について打合せを行わなければならない。ただし、教育委員会が特に必要ないと認めたときは、この限りでない。

利用後の届出等

第15条 利用者は、利用が終わったときは、直ちにその旨を届け出て、係員の点検を受けなければならない。

利用者の遵守事項

第16条 利用者は、次に定める事項を守らなければならない。
(1) 利用許可を受けていない施設及びその附属設備並びに美術品等の利用をしないこと。
(2) 次条各号に規定する行為をしないこと。
(3) 施設の利用に当たっては、入場者の安全確保の措置を講じ、及び入場者に次条各号に規定する行為をさせないこと。
(4) 美術品等の利用に当たっては、美術品等の保存に悪影響を与え、及び観覧者の観覧に支障を来す行為をしないこと。
(5) 係員の指示に従うこと。

入館者の遵守事項

第17条 入館者は、次に定める事項を守らなければならない。
(1) 施設及びその附属設備並びに美術品等を汚損し、又は損傷するおそれのある行為をしないこと。
(2) 図書閲覧室その他館内の所定の場所以外で図書、文献その他の閲覧をしないこと。
(3) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をしないこと。
(4) 騒音又は大声を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
(5) 他人に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。
(6) 許可を受けなくて美術館内及び敷地内において物品を販売し、又は金品の募集等の行為をしないこと。
(7) その他美術館の運営に支障を来す行為をしないこと。

美術館運営協議会

第18条 豊田市美術館運営協議会(以下「運営協議会」という。)に、会長を置く。
2 会長は、委員が互選し、その任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。
3 会長は、運営協議会を代表し、会務を総理する。

運営協議会の会議

第19条 運営協議会は、会長が招集し、議長となる。
2 運営協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
3 運営協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

委任

第20条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附則

施行期日

1 この規則は、平成7年11月11日(以下「施行日」という。)から施行する。

準備行為

2 この規則の規定に基づく利用許可の申請その他の準備行為は、施行日前においても行うことができる。

附則(平成13年3月30日教委規則第1号)

この規則は、公布の日から施行する。

附則(平成15年3月28日教委規則第3号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附則(平成16年12月27日教委規則第16号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附則(平成17年3月29日教委規則第5号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

別表第1(第5条関係)

利用申請期間		利用区分	期間
施設の利用	ギャラリー		利用日の属する月が1月から3月までの場合 前年の1月5日から1月31日までの間
			利用日の属する月が4月から6月までの場合 前年の4月1日から4月30日までの間
			利用日の属する月が7月から9月までの場合 前年の7月1日から7月31日までの間
		利用日の属する月が10月から12月までの場合 前年の10月1日から10月31日までの間	
	茶室		利用日の属する月の前12月から利用日の前7日までの間
美術品等の利用			利用日の属する月の前6月から利用日までの間

備考 引き続き2日以上利用しようとする場合の「利用日」とは、その最初の日をいう。

別表第2(第12条関係)

観覧料還付の基準	
区分	還付率
災害その他観覧料を納付した者の責めに帰すことができない事由によって観覧ができなくなった場合	100%
その他教育委員会が特別の事由があると認められた場合	その都度教育委員会 が定める還付率

使用料還付の基準

使用料還付の基準	
区分	還付率
災害その他利用者の責めに帰すことができない事由による取消し	100%
利用日前30日までに取消申請がなされた場合	90
利用日前20日までに取消申請がなされた場合	60
利用日前10日までに取消申請がなされた場合	30
その他教育委員会が特別の事由があると認められた場合	その都度教育委員会 が定める還付率

沿革

昭和54(1979)年	7月	市民意識調査で、市民の20%が美術館の建設を望む結果
59(1984)年	3月	第4次豊田市総合計画(1984-1990)の文化施設整備で、(仮称)豊田市美術館の建設を発表
平成2(1990)年	4月	(仮称)豊田市美術館構想委員会を設置
3(1991)年	3月	(仮称)豊田市美術館構想委員会が(仮称)豊田市美術館構想を答申
	4月	(仮称)豊田市美術館美術品収集委員会(平成6年8月に同選定委員会に改称)を設置
	9月	(仮称)豊田市美術館・高橋節郎記念館基本計画を策定
4(1992)年	3月	(仮称)豊田市美術館建設基本設計を策定
5(1993)年	3月	(仮称)豊田市美術館建設実施設計を策定
	6月	建設工事着工
	10月	ヴァチカン美術館との友好交流提携に調印
6(1994)年	6月	アトロイト美術館との友好交流提携に調印
7(1995)年	3月	豊田市美術館条例公布
	6月	建設工事竣工
	11月	豊田市美術館開館
8(1996)年	7月	入館者10万人達成
	11月	豊田市都市景観賞(主催:豊田市)
	12月	サインデザイン準優秀賞(主催:(社)日本サインデザイン協会)
9(1997)年	11月	入館者20万人達成
	11月	建築業協会賞(主催:建築業協会)
10(1998)年	2月	愛知まちなみ建築賞(主催:愛知県)
	4月	博物館登録
	12月	中部建築賞(主催:中部建築賞協議会)
11(1999)年	5月	入館者30万人達成
12(2000)年	11月	公共建築賞(主催:(社)公共建築協会)
13(2001)年	1月	入館者40万人達成
	12月	サインデザイン準優秀賞(主催:(社)日本サインデザイン協会)
	12月	印刷出版研究所奨励賞(主催:印刷出版研究所)
14(2002)年	3月	豊田市美術館モニターを設置
	4月	豊田市美術館運営協議会を設置
	10月	グッドデザイン賞(主催:(財)日本産業デザイン振興会)
	12月	サインデザイン優秀賞(主催:(社)日本サインデザイン協会)
15(2003)年	1月	入館者50万人達成
16(2004)年	6月	入館者60万人達成
	9月	豊田市美術館評価専門委員会を設置
17(2005)年	11月	開館10周年記念事業
	12月	入館者70万人達成

豊田市美術館 年報 No.10 (平成17年度)

発行: 2007年3月

編集・発行: 豊田市美術館

愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

tel. 0565-34-6610

印刷・製作: 東名印刷株式会社